

「道路に関する世論調査」の概要

令和3年10月
内閣府政府広報室

| | |
|------|---|
| 調査対象 | 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,646人（回収率 54.9%） （うち郵送 1,215人、インターネット 431人） |
| 調査期間 | 令和3年7月8日～8月15日 |
| 調査方法 | 郵送法（郵送配布、郵送又はオンライン（インターネット回答）回収） |
| 調査目的 | 道路に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。 |
| 調査項目 | 1 渋滞 2 交通安全 3 防災 4 環境 5 空間機能 6 地域づくり 7 観光振興 8 道路交通システム 9 維持管理 10 財源 11 高速道路の料金 12 施策ニーズ |
| 調査実績 | 「道路に関する世論調査」 （昭和39年1月、昭和52年6月、昭和55年11月、昭和61年3月、平成3年2月、平成7年11月、平成13年1月、平成18年7月、平成24年10月、平成28年7月） |
| その他 | 1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成28年7月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和3年7月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の方の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。 |

1 渋滞

(1) いつも通る道路での渋滞の有無

問1 あなたがいつも通る一般道路で、車が渋滞しているところがありますか。それともありませんか。
(○は1つ)

令和3年7月

- ・ある
- ・ない

61.2%

36.1%

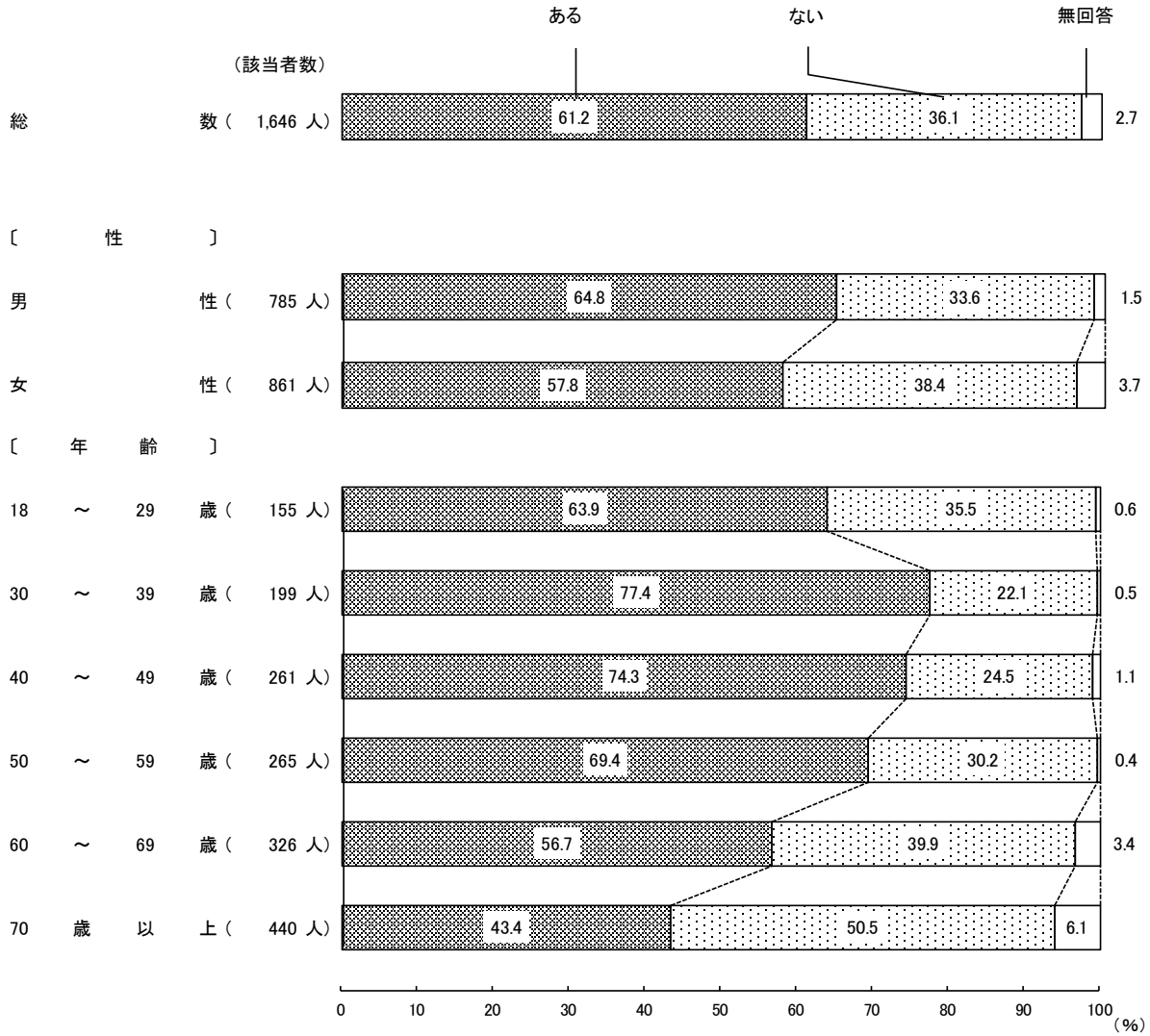


表1－参考 いつも通る道路での渋滞の有無

| | 該 当 者 数 | あ る | な い | ど ち ら と も い え な い |
|------------------------|------------------|--------|--------|---|
| | 人 | % | % | % |
| 平成18年7月調査 | 1,801 | 51.7 | 42.1 | 6.2 |
| 平成24年10月調査 | 1,866 | 49.9 | 46.8 | 3.2 |
| 平成28年7月調査 (うち20歳以上) | 1,783 | 47.9 | 47.7 | 4.4 |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 47.7 | 48.0 | 4.4 |

(注) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

ア 渋滞解決のための道路施策

(問1で「ある」と答えた方(1,007人)への質問)
 問2 その交通渋滞を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)
 令和3年7月

- ・ 交差点や踏切の立体交差化、車線数の増加、右折レーンの設置など道路構造を改良する 54.3%
- ・ 信号のサイクルを適切に調整する 48.0%
- ・ バイパス(市街地を避けて通る迂(う)回路)や環状道路を建設して市街地の交通量を少なくする 33.1%

(車が渋滞しているところが「ある」と答えた者に、複数回答)

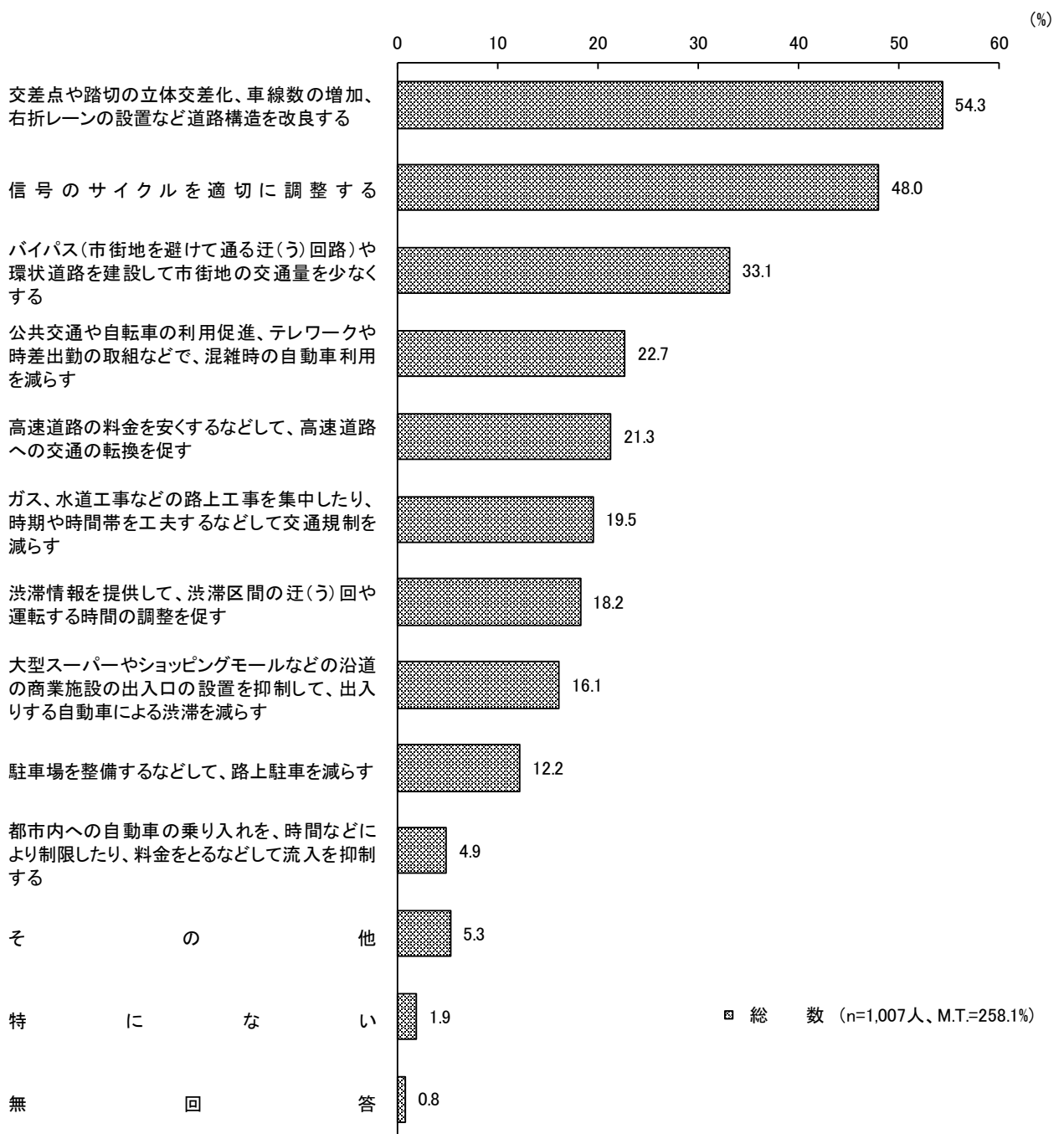


表2-参考 渋滞解決のための道路施策

(車が渋滞しているところが「ある」と答えた者に、複数回答)

| 該 当 者 数 | 信号のサイクルを適切に調整する | 交差点や踏切の立体交差化、車線数を増加、右折レーンの設置など道路構造を改良する | バイパス（市街地を避けて通る迂回）や環状道路を建設して市街地の交通量を少なくする | ガス、水道工事などの路上工事を集中して、時期や時間帯を工夫するなどして交通規制を減らす | 高速道路への料金を安くするなどして、高速道路への交通の転換を促す | 公共交通や自転車の利用促進などで混雑時の自動車利用を減らす | 駐車場を整備するなどして、路上駐車を減らす | 渋滞情報を提供して、渋滞区間の迂回（う）回や運転する時間の調整を促す | 大型スーパーやショッピングモールなどの沿道の商業施設の出入口の設置を抑制して、出入りする自動車による渋滞を減らす | 都市内への自動車の乗り入れを、時間などにより制限したり、料金をとるなどして流入を抑制する | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) | |
|------------------|-----------------|---|--|---|----------------------------------|-------------------------------|-----------------------|------------------------------------|--|--|-----|------------------|-----------------------|-------------|-------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 865 | 40.5 | 38.3 | 32.1 | 18.4 | 13.6 | 12.6 | 12.0 | 11.9 | 10.9 | 3.7 | 3.7 | 3.4 | 0.6 | 201.6 |

(注) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

2 交通安全

(1) 道路交通の安全性向上のための道路施策

問3 あなたは、道路交通の安全性向上のためには、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和3年7月

- ・生活道路において歩道整備や歩道拡幅、ガードレールの設置などを行う 63.9%
- ・歩行者・自転車・自動車が適切に分離された自転車の通行空間の整備を行う 57.5%
- ・通学路や園児の移動経路における危険な箇所の点検や、地域ぐるみの教育や見守り活動などを行う 45.4%
- ・交差点での右折車線の設置や幹線道路での中央帯の設置などを行う 41.6%

(複数回答)

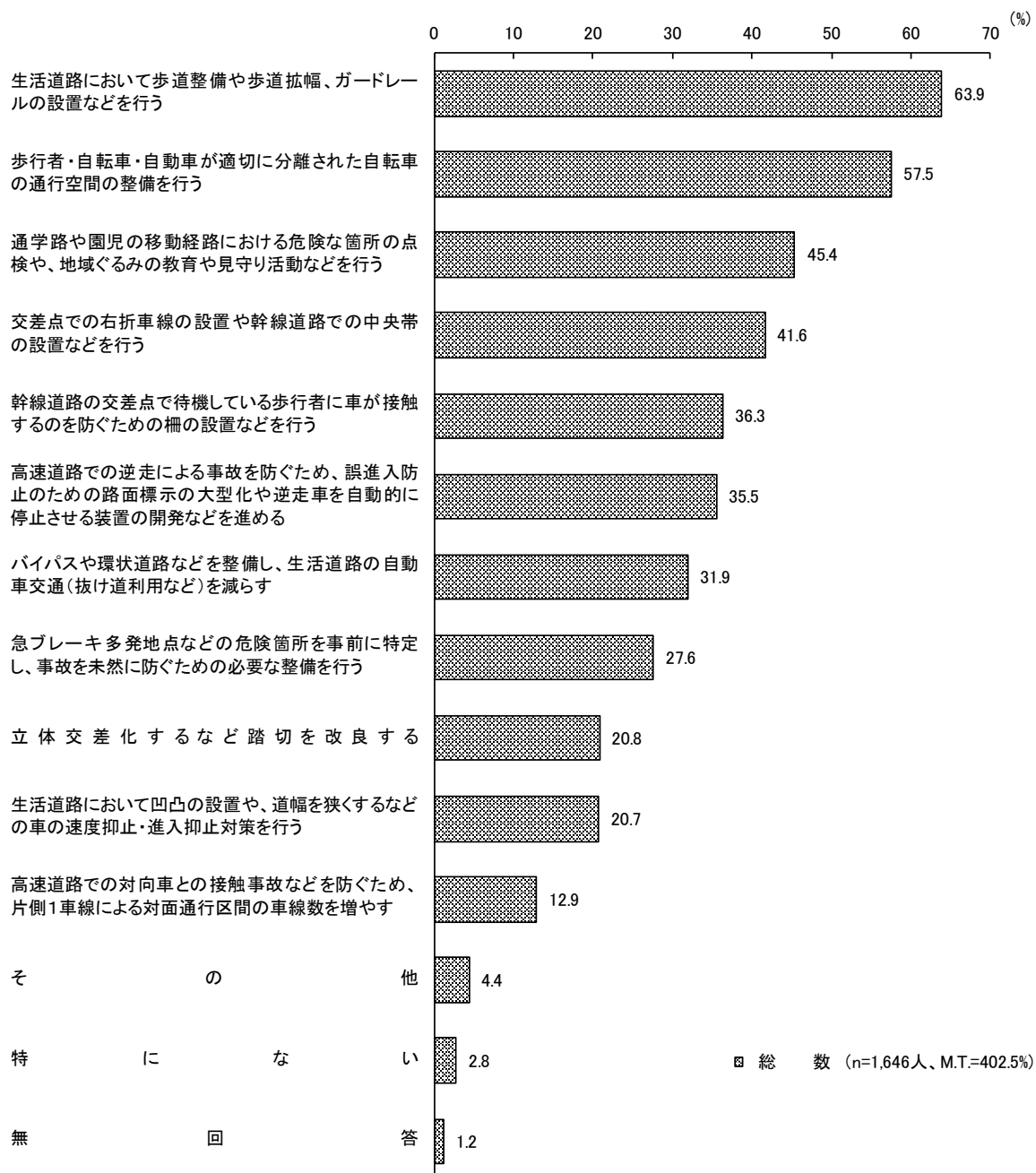


表3－参考 道路の安全性向上のための道路施策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 歩道の設置や幅を拡げる、ガードレール歩行者の分離を行うためのガードレール | 自転車道の整備 | 交差点での右折車線の設置や幹線道路 | バスや環状道路を建設し、市街地の自動車交通量を減らす | 立体交差化するなど踏切を改良する | 車のスピードを抑えるため、商店街や住宅地などの道路に凹凸を設けた安全確保を行う | 大型車の逆走防止のための道路標示 | 高速道路での逆走による事故を防ぐための大型車の逆走防止のための道路標示 | 急ブレーキ多発地点などの危険箇所 | 高速道路での対向車との接触による事故 | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) |
|-----------|------------------|--------------------------------------|---------|-------------------|----------------------------|------------------|---|------------------|-------------------------------------|------------------|--------------------|-----|------------------|-----------------------|-------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 46.1 | 32.5 | 21.4 | 19.4 | 19.2 | 18.8 | 18.6 | 13.8 | 10.1 | 3.4 | 9.0 | 2.9 | 215.0 | |

(注1) 平成28年7月調査までは、「あなたは、道路の安全性向上のためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 歩行者の立場から望む道路施策

問4 あなたは、高齢の歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路施策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位5項目)
令和3年7月

- ・歩道を設置したり幅を拡げたり、段差・傾きの解消などを行う 74.8%
- ・自転車と歩行者の通行空間を分離する 62.0%
- ・高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内をする 38.6%
- ・違法に設置された看板や放置自転車を撤去する 32.1%
- ・電線類の地中化を行い、電柱を撤去する 31.7%

(複数回答)

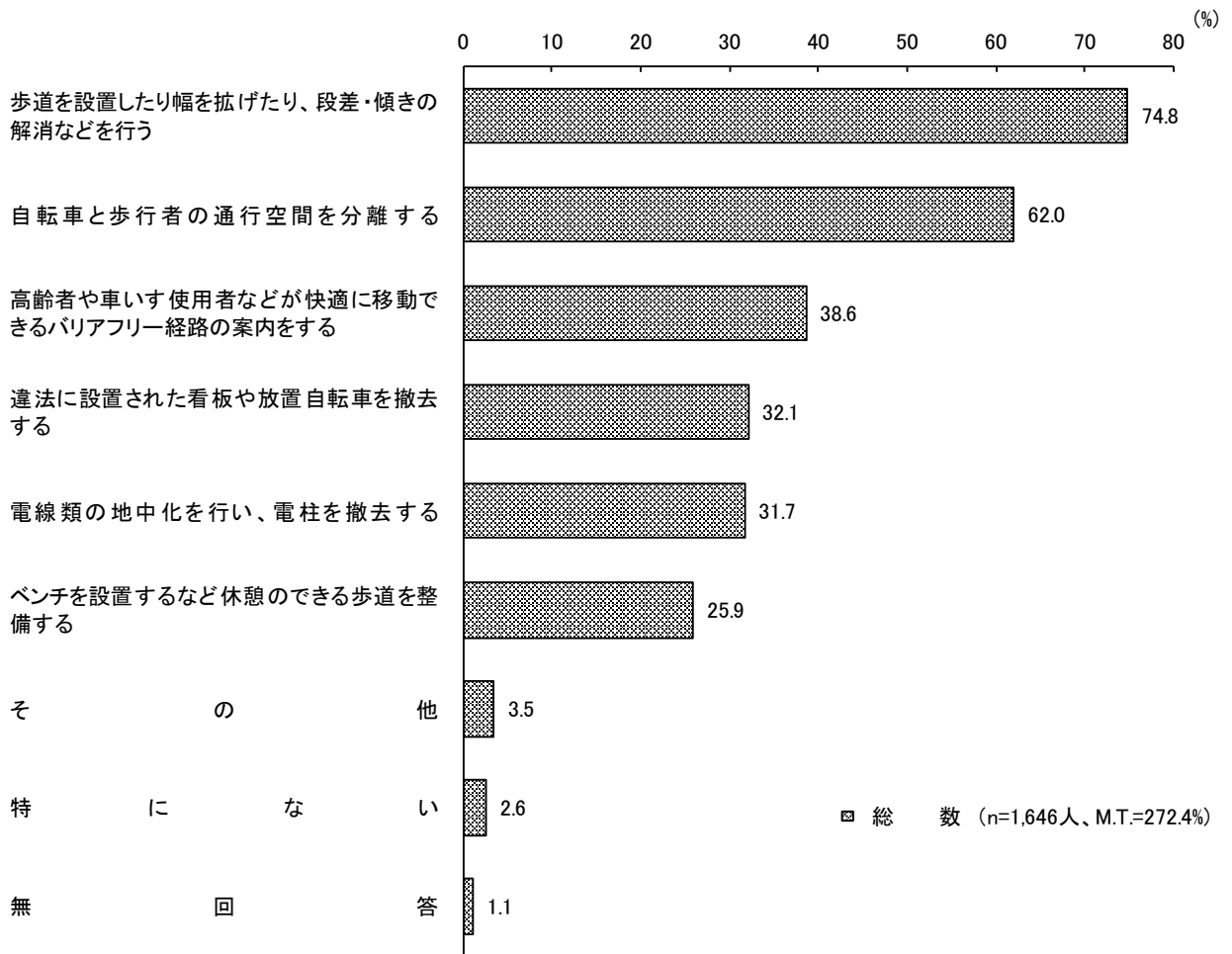


表4－参考 歩行者の立場から望む道路施策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 歩 道 を 設 置 し た り 、 段 差 ・ 傾 き の 解 消 な げ ど を 行 う | 自 転 車 と 歩 行 者 の 通 行 空 間 を 分 離 す る | フ リ ー 経 路 の 案 内 を す る | 高 齢 者 や 車 い ず 使 用 者 な ど が 快 適 に 移 動 で き る バ リ ア ー | 電 線 類 の 地 中 化 を 行 い 、 電 柱 を 撤 去 す る | 違 法 に 設 置 さ れ た 看 板 や 放 置 自 転 車 を 撤 去 す る | ベ ン チ を 設 置 す る な ど 休 憩 の で き る 歩 道 を 整 備 す る | そ の 他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) % |
|-----------|------------------|---|---|---|---|--|---|---|-------------|------------------|-----------------------|------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 63.0 | 54.8 | 38.5 | 25.9 | 25.0 | 20.6 | 1.8 | 4.5 | 0.8 | | 234.8 |

(注1) 平成28年7月調査までは、「あなたは、高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

3 防災

(1) 災害発生時の道路の安全性に対する意識

問5 あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について壊れたり、通行できなくなるといったことに不安を感じますか。(○は1つ)

令和3年7月

不安がある (小計)

66.5%

・不安がある

29.3%

・やや不安がある

37.2%

不安はない (小計)

32.3%

・あまり不安はない

26.5%

・不安はない

5.8%

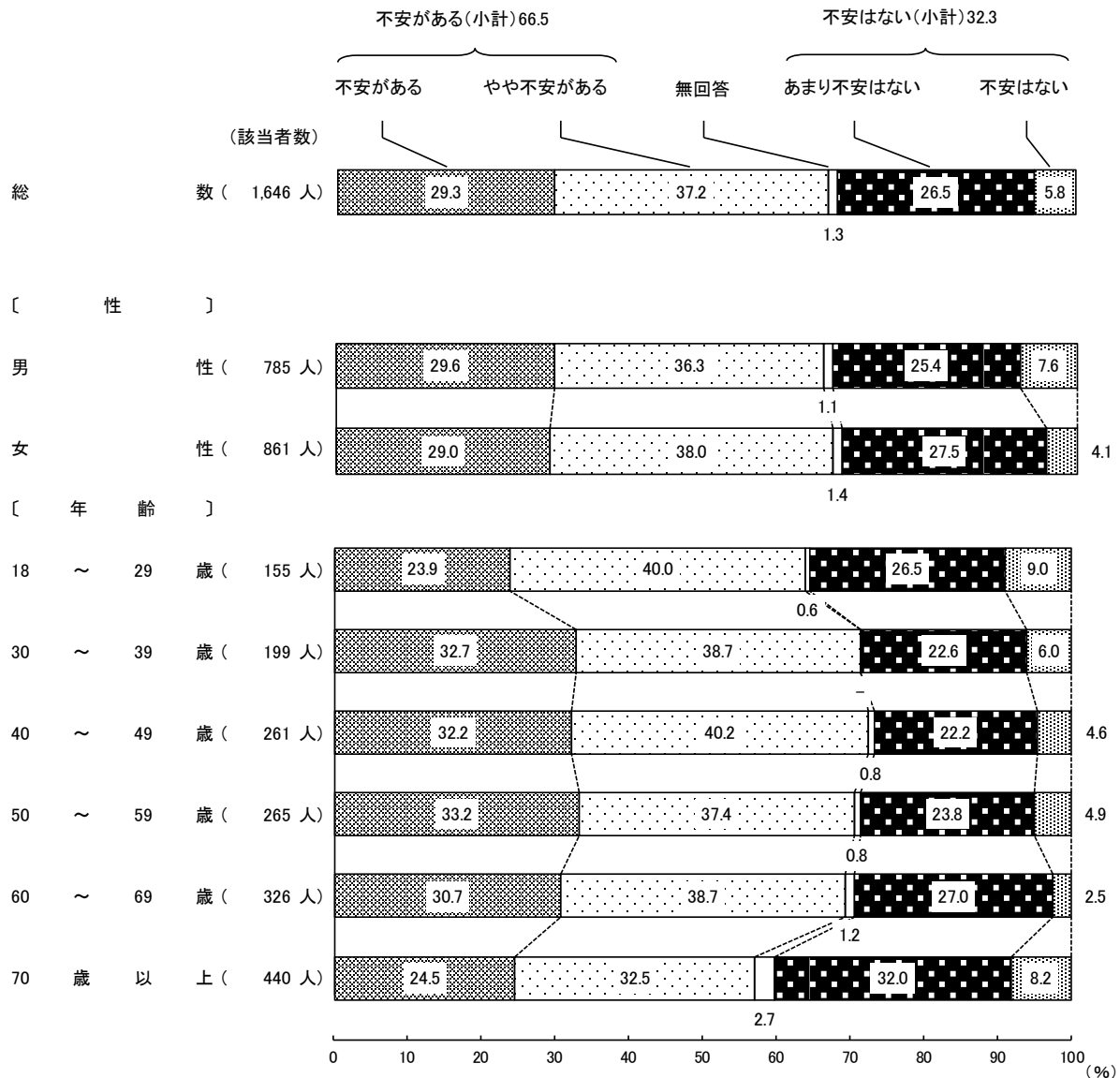


表5－参考 大地震・大雨等発生時の道路の安全性に対する意識

| | 該 当 者 数 | 不 安 が (小計) あ る | 不 | や | 不 | あ | 不 | わ か ら な い |
|------------------------|------------------|-------------------------------|------|------|------|------|------|-----------------------|
| | | | 安 | や | 安 | ま | 安 | |
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成24年10月調査 | 1,866 | 50.6 | 25.8 | 24.8 | 48.8 | 24.2 | 24.6 | 0.6 |
| 平成28年7月調査 (うち20歳以上) | 1,783 | 54.0 | 26.2 | 27.8 | 45.4 | 24.7 | 20.7 | 0.7 |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 53.8 | 26.1 | 27.7 | 45.5 | 24.7 | 20.8 | 0.7 |

(注1) 平成24年10月調査では、「大地震や大雨が発生した場合、お住まいの近くにある道路について不安を感じますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査では、「大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について不安を感じますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 災害に備えるために必要な道路施策

問6 あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害に備えるためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位6項目)
令和3年7月

| | |
|---|-------|
| ・電柱の倒壊による道路の寸断を防ぐための電線類の地中化 | 51.8% |
| ・救急活動や救援物資などの輸送を確実にを行うために必要な幹線道路の整備・改修、複数ルート確保 | 50.1% |
| ・落石や土砂崩れなどによる道路への被災を防ぐため、コンクリートで補強するなどの道路の斜面の整備 | 43.5% |
| ・安全に避難できる避難路の整備 | 40.9% |
| ・地震情報や道路情報を的確に把握、提供する情報システムの整備 | 39.4% |
| ・大地震にも耐え得る道路の耐震補強 | 36.1% |

(複数回答)

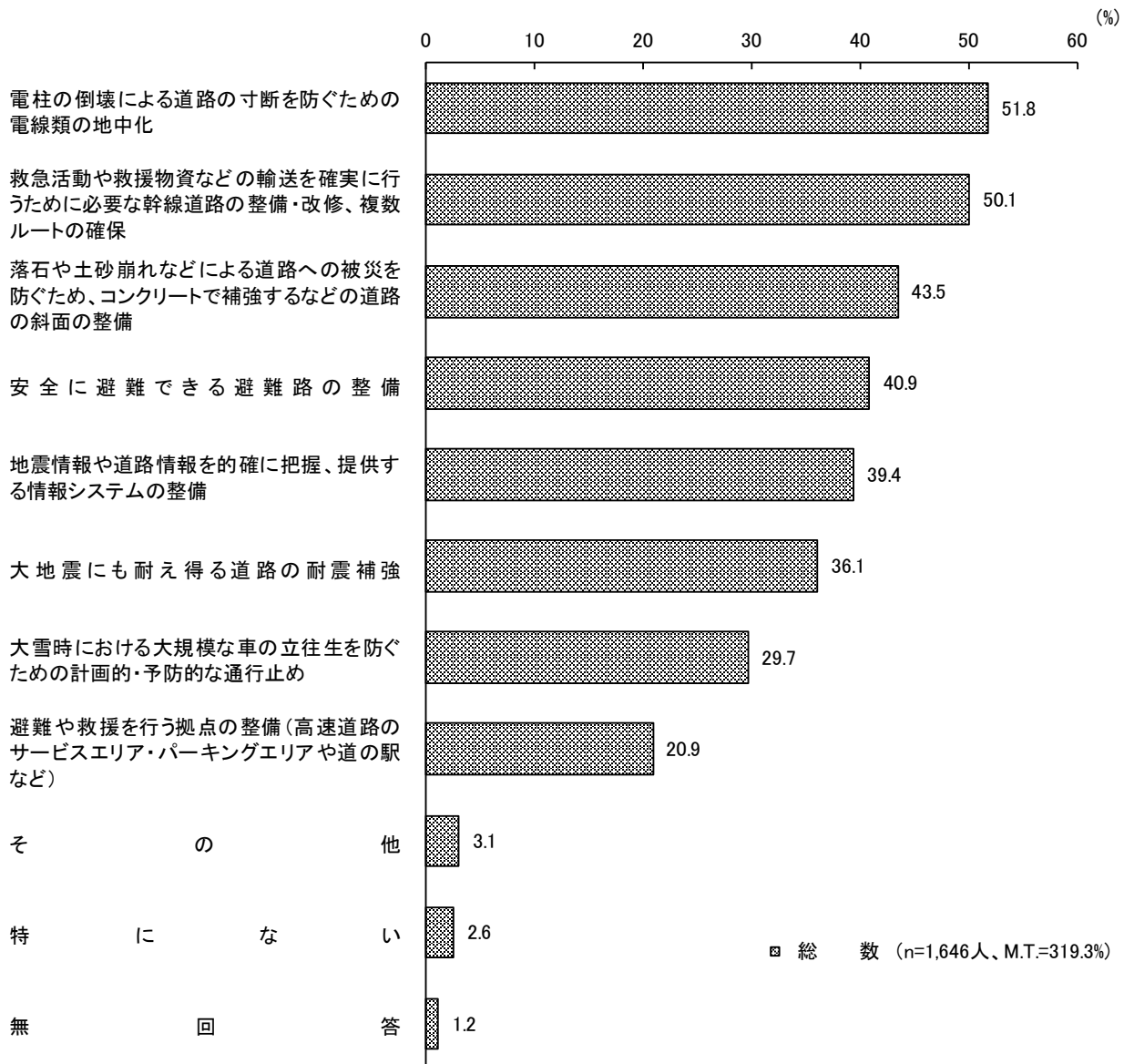


表6－参考 大地震・大雨等の災害に備えるための道路施策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 安全に避難できる避難路の整備 | 救急活動や救援物資などの輸送を確保・改修、複数ルート確保 | 電柱の倒壊による道路の寸断を防ぐための電線類の地中化 | 大地震にも耐え得る道路の耐震補強 | 地震情報や道路情報を的確に把握、提供する情報システムの整備 | 落石や土砂崩れなどによる道路への被災を防ぐため、コンクリートで補強するなどの道路の斜面の整備 | エリアや道の駅など | 避難や救援を行う拠点の整備（高速道路のサービスエリア・パーキングエリア） | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) |
|-----------|------------------|----------------|------------------------------|----------------------------|------------------|-------------------------------|--|-----------|--------------------------------------|-----|------------------|-----------------------|-------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 44.0 | 39.6 | 39.2 | 35.1 | 32.8 | 31.9 | 18.2 | 1.1 | 7.7 | 1.9 | 251.5 | |

(注1) 「あなたは、大地震や大雨などによる災害に備えるためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(3) 災害発生時の通行止めにより不便に感じること

問7 あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害により、よく利用する道路が通行止めになった場合、どのようなことに特に不便を感じますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和3年7月

- ・救急車など緊急・救急車両の到着の遅れ 70.8%
- ・日常品の買い物の障害 55.4%
- ・物資の輸送の遅れ 53.0%
- ・通勤・通学・通院の障害 46.8%

(複数回答)

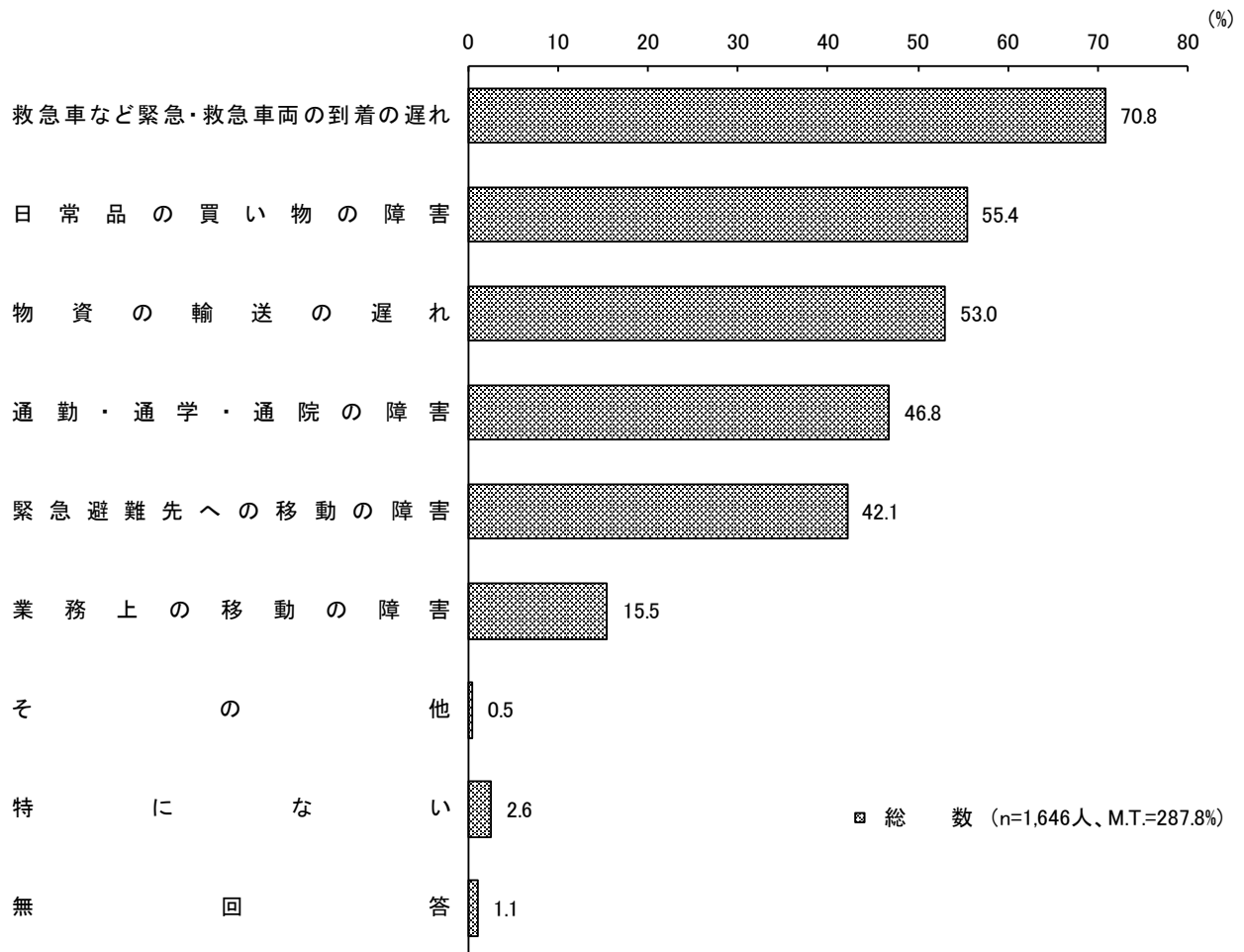


表7－参考 災害発生時の通行止めにより不便なこと

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | の 救 急 車 な ど 緊 急 ・ 救 急 車 兩 の 到 着 の 遅 れ | 物 資 の 輸 送 の 遅 れ | 日 常 品 の 買 い 物 の 障 害 | 緊 急 避 難 先 へ の 移 動 の 障 害 | 通 勤 ・ 通 学 の 障 害 | 業 務 上 の 移 動 の 障 害 | そ の 他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M. T.) |
|-----------|------------------|---|--------------------------------------|--|--|--------------------------------------|---|-------------|------------------|-----------------------|--------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 67.2 | 48.2 | 46.5 | 41.3 | 30.2 | 18.7 | 0.3 | 6.2 | 1.0 | 259.6 |

(注1) 「あなたは、大地震や大雨などによる災害により、よく利用する道路が通行止めになった場合、どういうことに特に不便を感じますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

4 環境

(1) 自動車の通行により迷惑に感じていること

問8 あなたは、お住まいの近くでの自動車の通行により、迷惑に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)

令和3年7月

- ・交通事故の危険 38.2%
- ・住宅地などの生活道路への通過交通(抜け道として利用する自動車)の流入 33.9%
- ・ゴミなどのポイ捨て 30.7%
- ・路上駐車 30.6%
- ・特にない 17.8%

(複数回答)

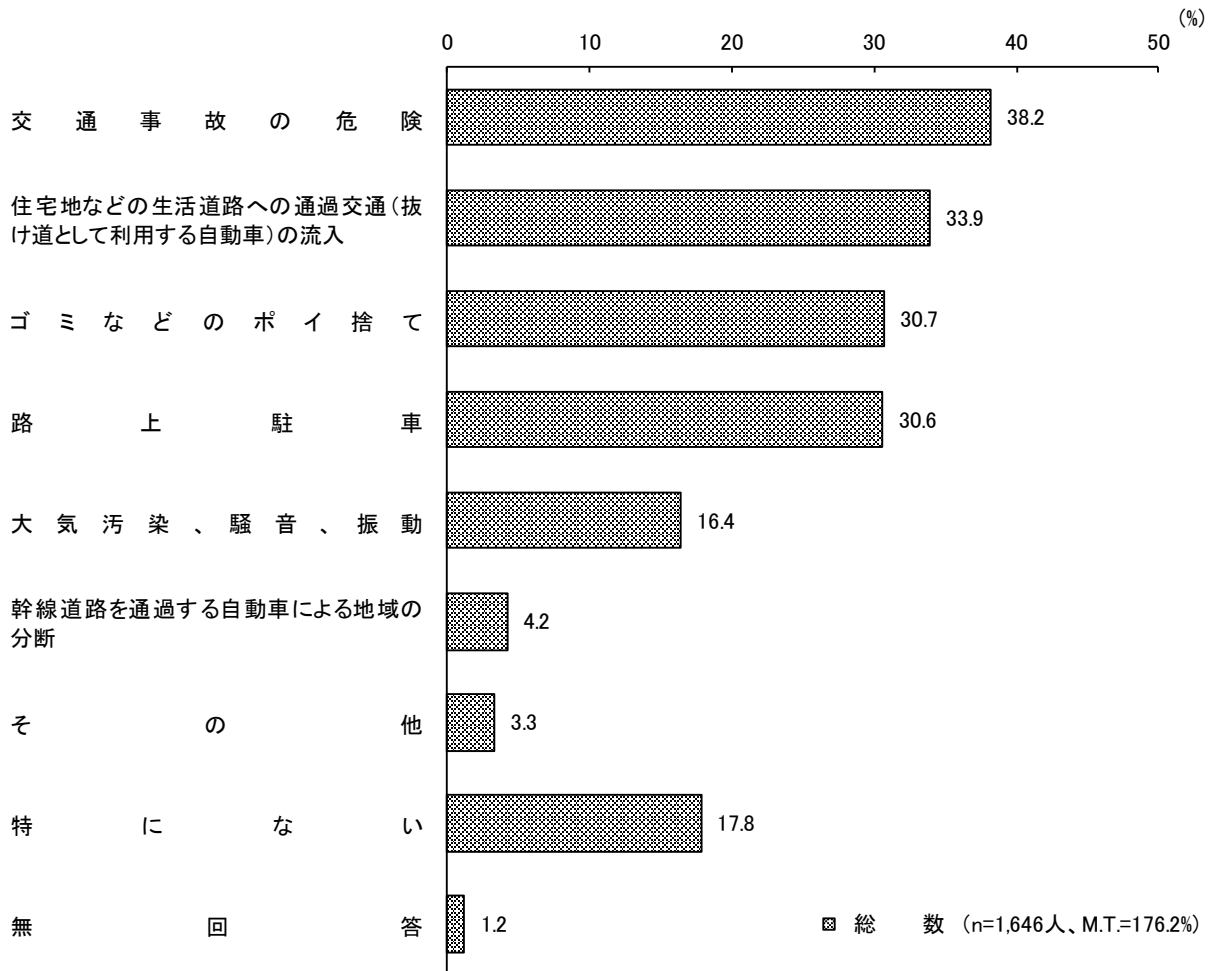


表8－参考 自動車の通行により被っている迷惑の種類

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 路 上 駐 車 | 住 宅 地 な ど の 生 活 道 路 へ の 通 過 交 通 (抜 け 道 と し て 利 用 す る 自 動 車) の 流 入 | 交 通 事 故 の 危 険 | ゴ ミ な ど の ポ イ 捨 て | 大 気 汚 染 、 騒 音 、 振 動 | 幹 線 道 路 を 通 過 す る 自 動 車 に よ る 地 域 の 分 断 | そ の 他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M. T.) |
|-----------|------------------|------------------|--|---------------------------------|---|--|--|-------------|------------------|-----------------------|-------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 33.6 | 27.1 | 25.2 | 19.7 | 15.1 | 4.5 | 1.7 | 26.9 | 0.7 | 154.4 |

(注) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 脱炭素社会の実現のために必要な道路施策

問9 あなたは、脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出量を削減するためには、道路施策の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位5項目)

令和3年7月

- ・電気自動車など次世代自動車の普及を促進する 61.5%
- ・渋滞を減らして自動車の走行をスムーズにする 42.7%
- ・公共交通機関の利用を促進する 31.9%
- ・LED道路照明の普及を促進する 30.7%
- ・太陽光など再生可能エネルギーでの発電に道の駅やサービスエリアなどの道路空間を活用する 28.1%

(複数回答)

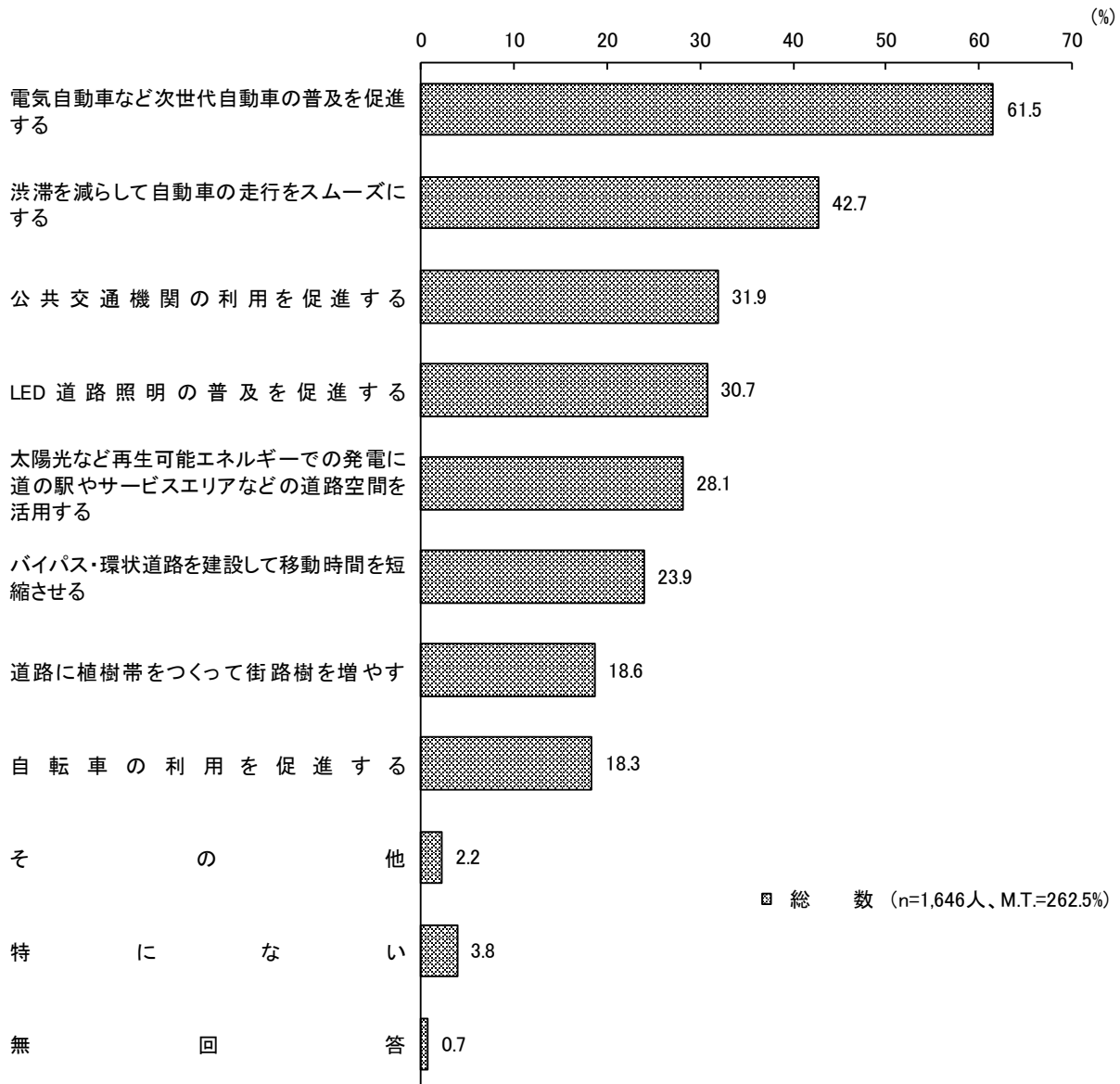


表9－参考 大気汚染・騒音等を改善するための道路施策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 車 の 普 及 を 促 進 す る | ハイブリッド自動車など低公害車の普及を促進する | 渋滞を減らして自動車の走行をスムーズにする | 公共交通機関の利用を促進する | 車の走行音を抑える舗装の設置を促進する | バイパス・環状道路を建設して市街地を迂(う)回させる | 夜間における大型車などの走行を禁止または制限する | 幹線道路などに防音壁や植樹帯をつくる | 幹線道路沿いには、車の騒音などの影響を受けやすい住宅の立地を抑制する | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) |
|-----------|------------------|---|-------------------------|-----------------------|----------------|---------------------|----------------------------|--------------------------|--------------------|------------------------------------|-----|------------------|-----------------------|-------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 48.7 | 32.5 | 29.1 | 19.9 | 17.7 | 14.3 | 13.9 | 9.1 | 0.8 | 9.5 | 3.9 | 199.3 | |

(注1) 「あなたは、自動車による大気汚染、二酸化炭素の排出や騒音、振動などの迷惑を改善するために、どのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

5 空間機能

(1) 道路空間の有効・快適な活用方策

問 10 あなたは、道路空間とその沿道を有効かつ快適に活用していくためにどのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)

令和3年7月

- ・電線類の地中化、植樹帯の設置などにより景観をよくする 53.6%
- ・歩行者優先の道路空間を確保する 49.9%
- ・自転車が快適に走行できる空間をつくる 45.4%
- ・違法に設置された看板や放置自転車を撤去する 43.4%

(複数回答)

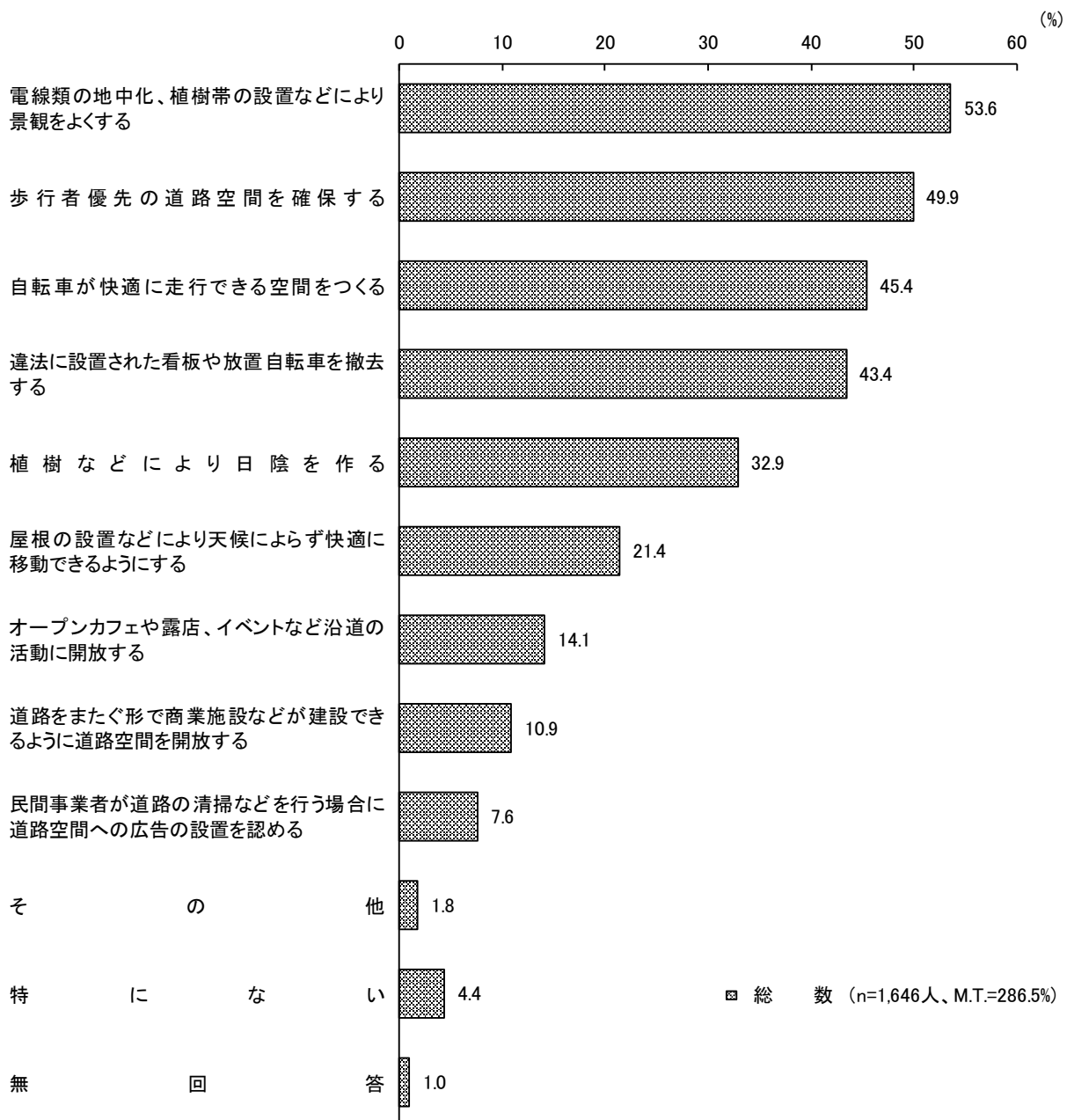


表 10－参考 道路空間の有効、快適な活用方策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 歩行者優先の道路空間を確保する | 電線類の地中化、植樹帯の設置などにより景観をよくする | 自転車が快適に走行できる空間をつくる | 違法に設置された看板や放置自転車を撤去する | 植樹などにより日陰を作る | 屋根の設置などにより天候によらず快適に移動できるようにする | 道路をまたぐ形で商業施設などが建設できるように道路空間を開放する | オープンカフェやイベントなど沿道の活動に開放する | 民間事業者が道路の清掃などを行う場合に道路空間への広告の設置を認める | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) |
|----------------|------------------|-----------------|----------------------------|--------------------|-----------------------|--------------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------|------------------------------------|-----|------------------|-----------------------|-------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成 28 年 7 月 調査 | 1,815 | 48.0 | 42.6 | 39.7 | 32.5 | 26.3 | 12.2 | 9.0 | 8.8 | 6.9 | 0.7 | 7.9 | 2.7 | 237.3 |

(注1) 「あなたは、道路空間とその沿道を有効かつ快適に活用していくためにどういったことが重要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

6 地域づくり

(1) 活力ある地域づくりのために必要な道路整備

問 11 あなたは、活力ある地域づくりのために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)

令和3年7月

- ・歩行者や自転車が気軽に散歩を楽しめる道路の整備 48.4%
- ・大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備 41.9%
- ・バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備 38.3%
- ・周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備 35.7%

(複数回答)

(%)

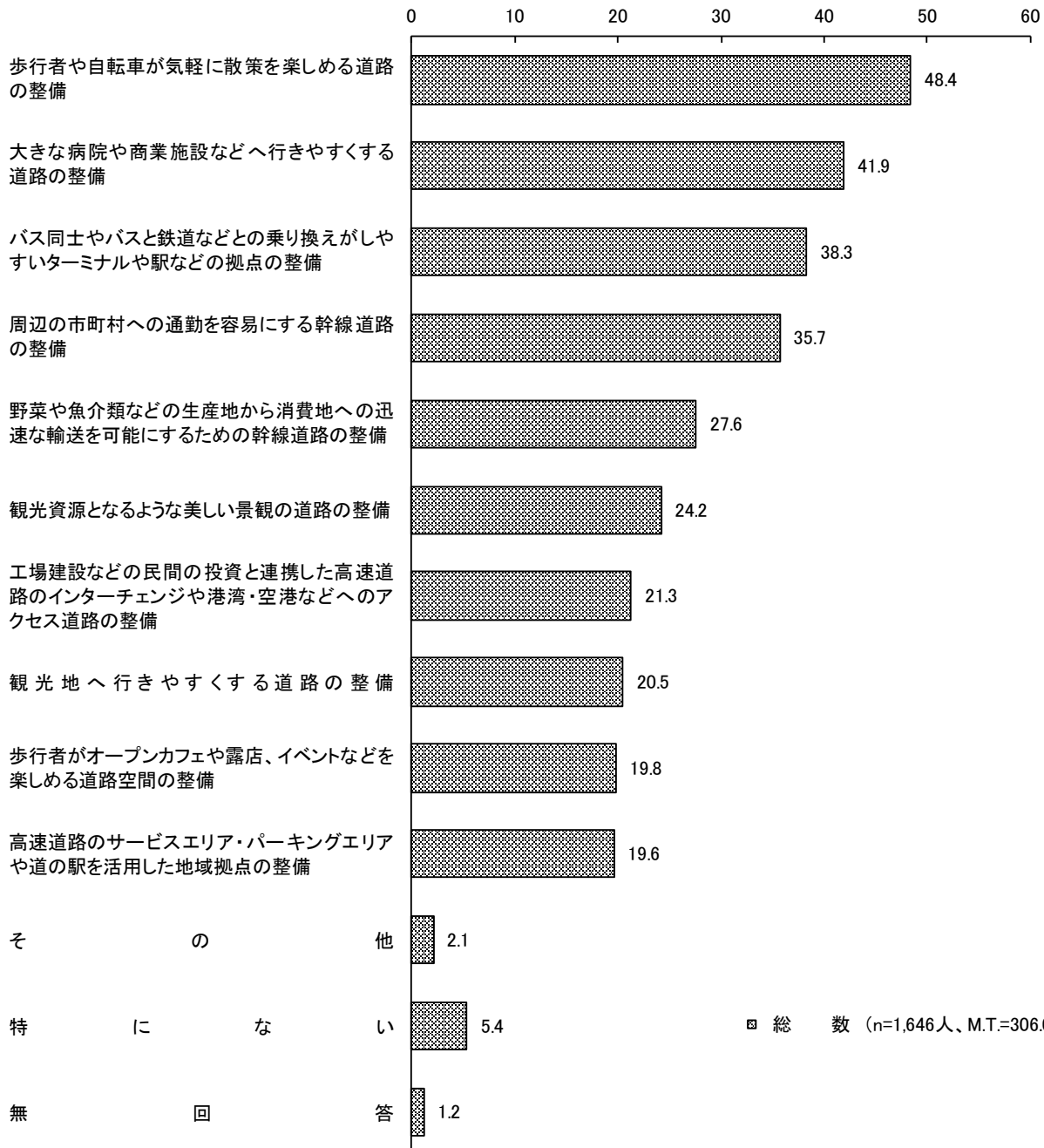


表 11－参考 活力ある地域づくりのための道路施策

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 大 き な 病 院 や 商 業 施 設 な ど へ 行 き や す く す る 道 路 の 整 備 | 歩 行 者 や 自 転 車 が 気 軽 に 散 策 を 楽 し め る 道 路 の 整 備 | 周 辺 の 市 町 村 へ の 通 勤 を 容 易 に す る 幹 線 道 路 の 整 備 | バ ス 同 士 や バ ス と 鉄 道 な ど の 乗 り 換 え が し や す い タ ー ミ ナ ル や 駅 な ど の 拠 点 の 整 備 | 観 光 資 源 と な る よ う な 美 し い 景 観 の 道 路 の 整 備 | 野 菜 や 魚 介 類 な ど の 生 産 地 か ら 消 費 地 へ の 迅 速 な 輸 送 を 可 能 に す る た め の 幹 線 道 路 の 整 備 | 工 場 建 設 な ど の 民 間 の 投 資 と 連 携 し た 高 速 道 路 の イ ン タ ー チ エ ン ジ や 港 湾 ・ 空 港 な ど へ の ア ク セ ス 道 路 の 整 備 | 観 光 地 へ 行 き や す く す る 道 路 の 整 備 | 高 速 道 路 の サ ー ビ ス エ リ ア ・ バ ー キ ン グ エ リ ア や 道 の 駅 を 活 用 し た 地 域 拠 点 の 整 備 | そ の 他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) | |
|----------------|------------------|---|---|---|---|---|--|---|--|---|-------------|------------------|-----------------------|-------------|---|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成 28 年 7 月 調査 | 1,815 | 39.2 | 38.9 | 29.8 | 26.0 | 19.0 | 18.2 | 17.9 | 17.2 | 12.6 | 0.6 | 10.0 | 3.3 | 232.5 | |

(注) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

7 観光振興

(1) 観光振興のために必要な道路施策

問 12 あなたは、観光振興のために、道路施策の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇は
いくつでも)

(上位4項目)

令和3年7月

- ・ 駐車場の整備などによる渋滞や路上駐車削減 58.3%
- ・ 誰にでもわかりやすい観光地への案内標識の設置 48.0%
- ・ 高速道路料金の割引の充実 45.9%
- ・ 観光地へ行きやすくする道路の整備 41.1%

(複数回答)

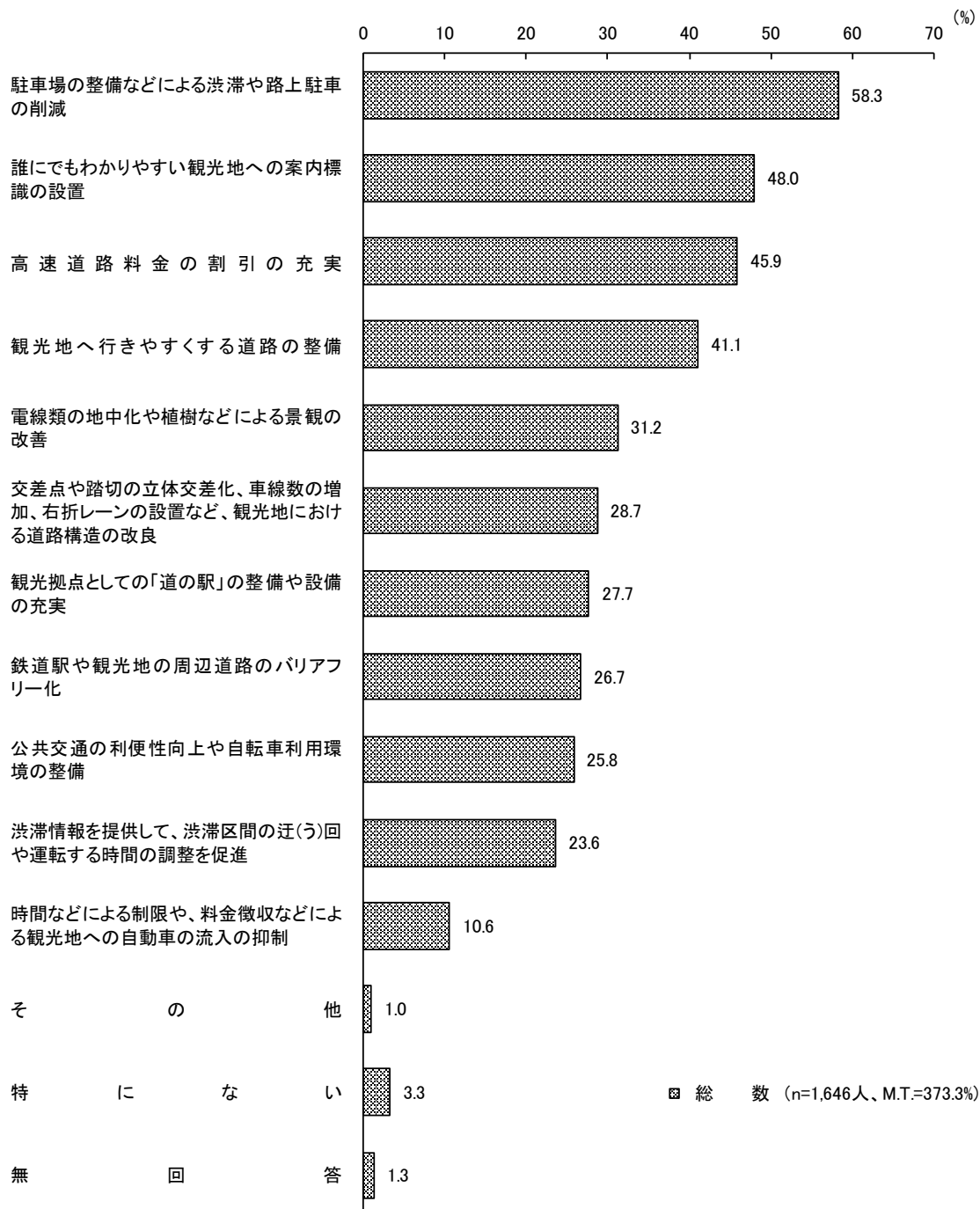


表 12-参考 観光振興のための道路施策

(複数回答)

| 該 当 者 数 | 駐車場の整備などによる渋滞や路上駐車削減 | 観光地への分かりやすい案内標識の設置 | 高速道路料金の割引の充実 | 観光地へ行きやすくする道路の整備 | 観光拠点としての「道の駅」の整備や設備の充実 | 鉄道駅や観光地の周辺道路のバリアフリー化 | 電線類の地中化や植樹などによる景観の改善 | 公共交通の利便性向上や自転車利用環境の整備 | 交差点や踏切の立体交差化、車線数の増加、右折レーンの設置など、観光地における道路構造の改良 | 渋滞情報（迂回）の提供や渋滞区間の調整を促進 | 時間などによる制限や、料金徴収の流入の抑制 | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) | |
|------------------|----------------------|--------------------|--------------|------------------|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|---|------------------------|-----------------------|-----|------------------|-----------------------|-------------|-------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | |
| 平成 28 年 7 月 調査 | 1,815 | 41.4 | 41.3 | 37.2 | 34.8 | 24.8 | 21.2 | 19.2 | 19.2 | 16.6 | 15.2 | 8.4 | 0.4 | 6.6 | 2.4 | 288.7 |

(注) 平成28年7月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

8 道路交通システム

(1) ICTの観点から求められる道路の環境や機能

問13 あなたは、ICT（情報通信技術）を活用した道路環境や機能として、どのようなものがあれば便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

令和3年7月

- ・車線や車間距離の維持などを補助する安全運転支援技術の精度を向上させるような、車載センサーが認識しやすい白線や標識などが整備された道路環境 56.9%
- ・誤って高速道路を逆走してしまった際に、自動的な車両の停止などにより逆走を防止する機能 51.6%
- ・道路上の落下物や交通事故などの危険箇所、路面状況などの情報を受け取ることができる道路環境 47.3%
- ・駐車場やガソリンスタンドでの料金支払いを、ETCなどを通じて自動的に行える機能 35.7%

(複数回答)

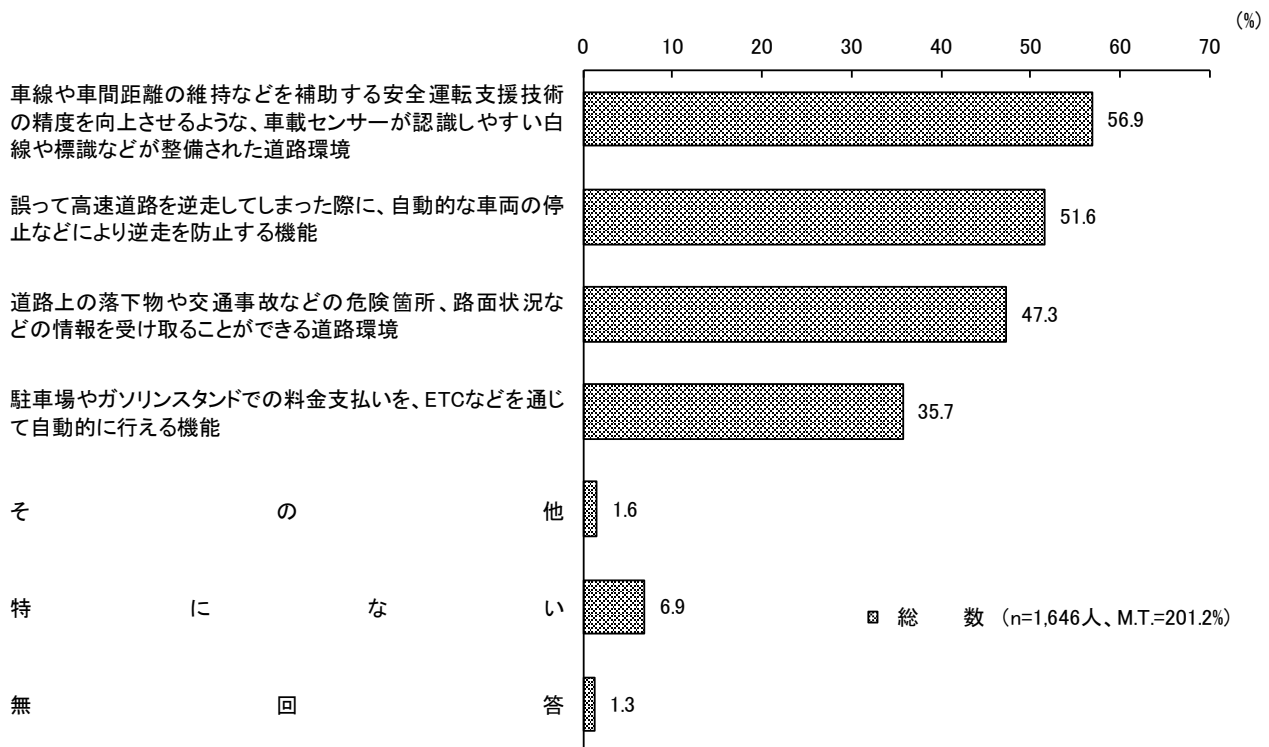


表 13ー参考 利用したい新しい道路交通システム

(複数回答)

| | 該 当 者 数 | 運転中に、最新の渋滞・規制情報などの道路 交通情報に基づき広域迂(う)回など最適な ルートを選択する機能 | 運転中に、最新の渋滞・規制情報などの道路 交通情報に基づき広域迂(う)回など最適な ルートを選択する機能 | 案内や、地震などの災害時に避難場所まで誘 導する機能 | 歩行中に、携帯電話などを通じて目的地への 案内や、地震などの災害時に避難場所まで誘 導する機能 | で、安全運転を支援する機能 | 箇所、路面状況などの情報を受け取ることが でき、安全運転を支援する機能 | 運転中に、道路上の障害物や交通事故の危険 箇所、路面状況などの情報を受け取ることが でき、安全運転を支援する機能 | を防止する機能 | 運転中に、自動的に車道の停止などにより逆走 を防止する機能 | 運転中に、誤って高速道路を逆走してしまつ た際に、自動的に車道の停止などにより逆走 を防止する機能 | 運転中に、誤って高速道路を逆走してしまつ た際に、自動的に車道の停止などにより逆走 を防止する機能 | 駐車場やガソリンスタンドでの料金支払いシ ステム、ETC(ノンストップ自動料金支払いシ ステム)などを通じて自動的に行う機能 | くても運転を可能にする自動運転機能 | ドライバーがハンドルやブレーキを操作しな くても運転を可能にする自動運転機能 | その他 | 特 に な い | わ か ら な い | 計 (M.T.) |
|-----------|------------------|--|--|-------------------------------|---|---------------|--|--|---------|----------------------------------|---|---|--|-------------------|---|-----|------------------|-----------------------|-------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成28年7月調査 | 1,815 | 41.5 | 38.7 | 36.4 | 27.7 | 25.3 | 21.1 | 0.1 | 12.5 | 3.5 | 206.9 | | | | | | | | |

(注1) 平成28年7月調査までは、「新しい道路交通システムの整備が進められていますが、あなたが利用したいと考えるものは何ですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

9 維持管理

(1) 道路構造物の維持修繕、更新の考え方

問 14 高度経済成長期に集中的に整備されてきた橋などの老朽化が今後進んでいきますが、あなたは、これらの橋などについて、どのように維持や修繕、更新を行うべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

令和3年7月

- ・修繕するよりも積極的に更新(作り直し)を進める 21.1%
- ・傷みが大きくなってから修繕し、必要に応じて更新(作り直し)を進める 5.3%
- ・傷みが小さいうちに予防的な修繕を進め、できるだけ長持ちさせる 41.1%
- ・交通量などを考慮して、優先的に維持修繕を行う橋などの対象を絞って、集約や撤去を進める 25.0%
- ・特に修繕はしない(利用できなくなる橋などがでてきてもやむを得ない) 0.7%

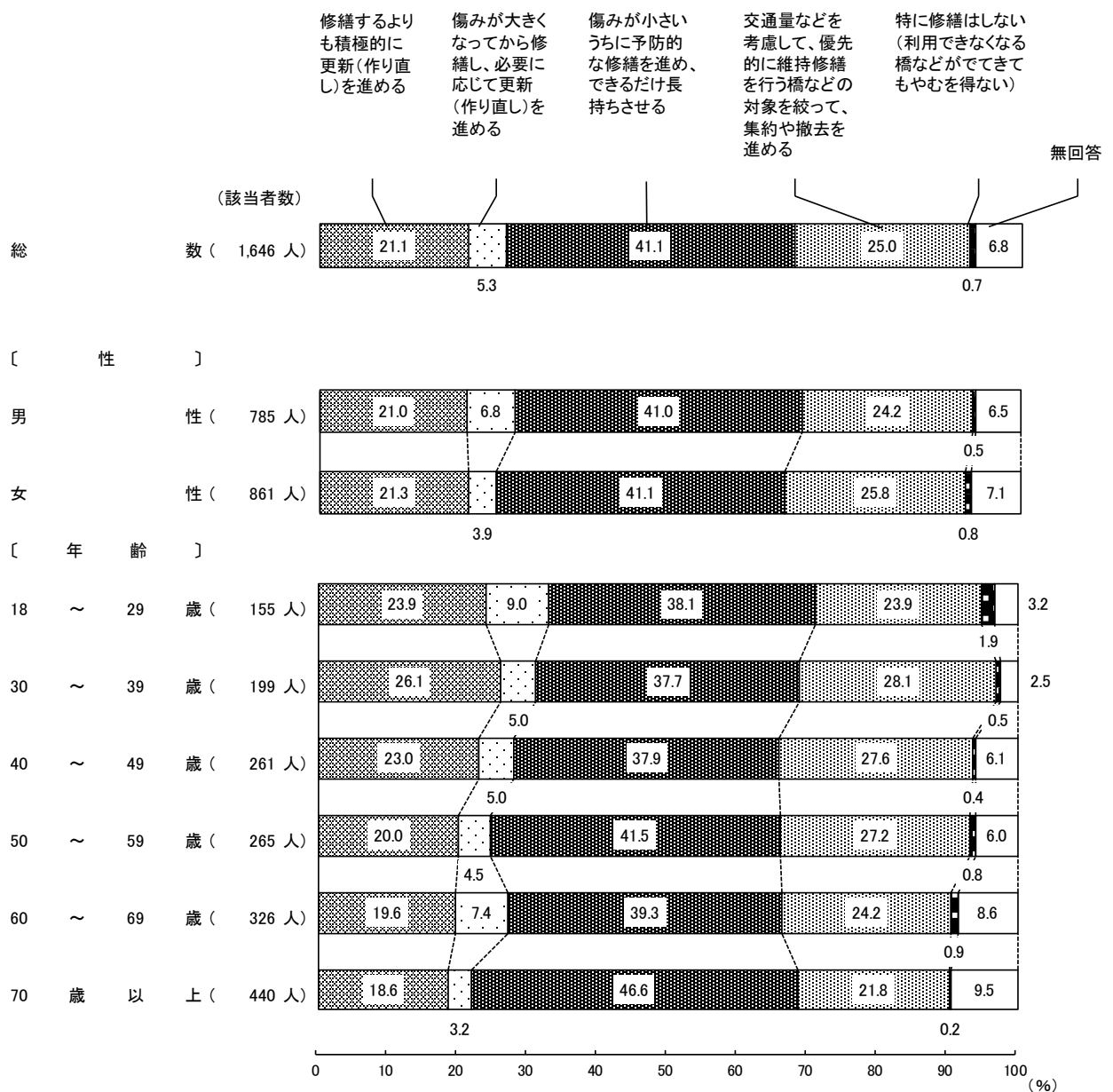


表 14－参考 道路構造物の維持修繕、更新の考え方

| | 該 当 者 数 | 補 修 す る よ り も 積 極 的 に 更 新 （ 作 り 直 し ） を 進 め る | 傷 み が 大 き く な っ て か ら 補 修 し 、 必 要 に 応 じ て 更 新 （ 作 り 直 し ） を 進 め る | 傷 み が 小 さ い う ち に 予 防 的 な 補 修 を 進 め、 で き る だ け 長 持 ち さ せ る | 交 通 量 な ど を 考 慮 し て、 優 先 的 に 維 持 修 繕 を 行 う 橋 な ど の 対 象 を 絞 っ て、 集 約 や 撤 去 を 進 め る | 特 に 補 修 は し な い （ 利 用 で き な く な る 橋 な ど が で て き て も や む を 得 な い ） | そ の 他 | わ か ら な い |
|--------------------------------|------------------|---|---|--|--|---|-------------|-----------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成 24 年 10 月 調 査 | 1,866 | 22.1 | 11.6 | 60.7 | ※ | 1.7 | 0.3 | 3.5 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 （うち 20 歳以上） | 1,783 | 18.7 | 7.9 | 48.3 | 20.7 | 1.2 | 0.3 | 2.9 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 1,815 | 18.7 | 7.8 | 48.4 | 20.8 | 1.2 | 0.3 | 2.9 |

（注 1）「高度経済成長期に集中的に整備されてきた橋などの高齢化が今後進んでいきますが、これらの橋などについて、どのように維持や修繕、更新を行うべきだと思いますか。この中であなたのお考えに最も近いものを 1 つだけお答えください。」と聞いている。

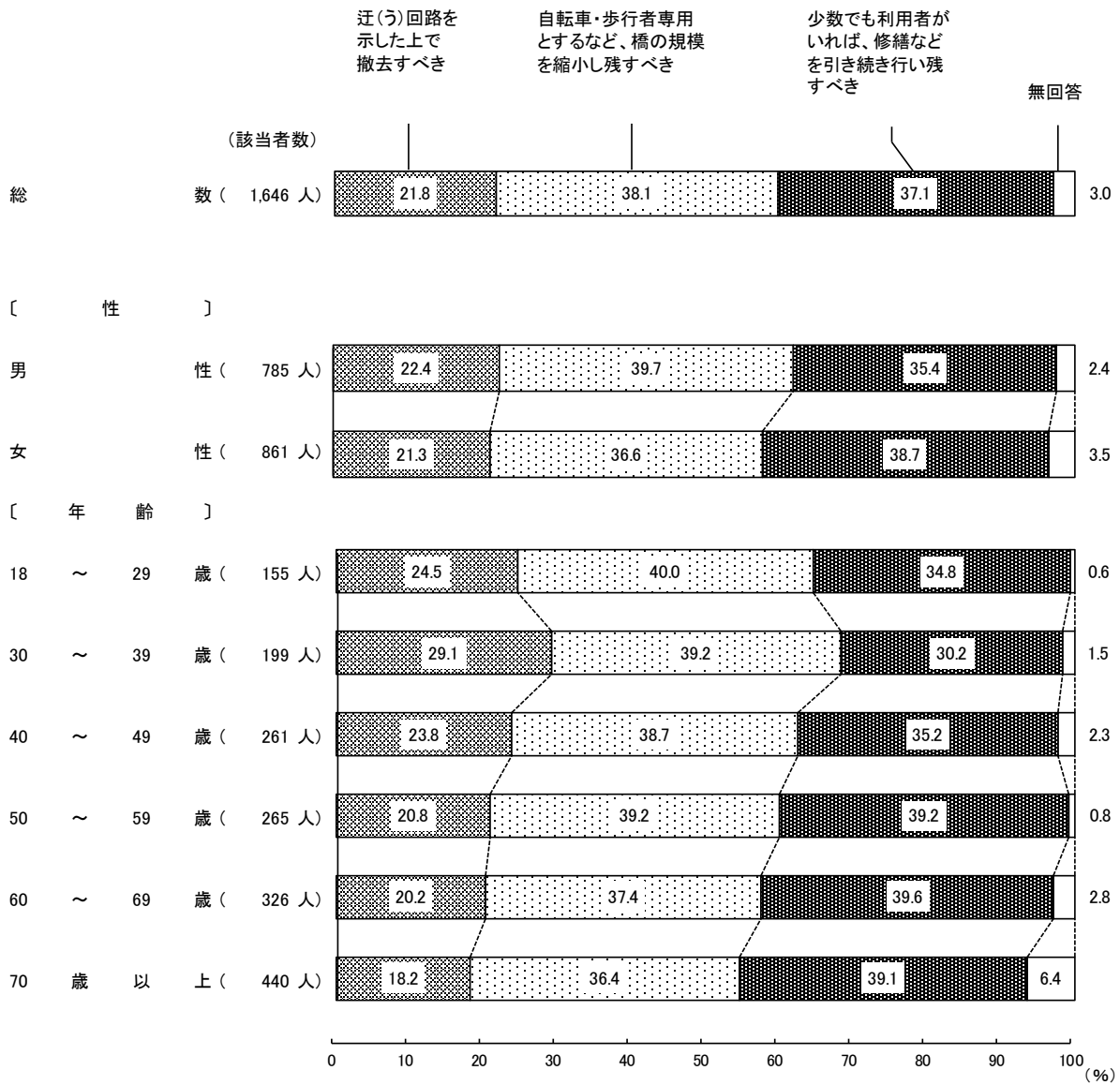
（注 2）平成 28 年 7 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 3 年 7 月調査との単純比較は行わない。

(2) 利用者が少なくなった橋の対応

問 15 道路の橋は、全国に 72 万橋がかけられています。橋の維持修繕にはコストがかかる一方で人口減少などにより利用者が少なくなったものの、利用されている橋もあります。あなたは、このような橋についてどのような対応を行うことがよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

令和3年7月

- ・迂(う)回路を示した上で撤去すべき 21.8%
- ・自転車・歩行者専用とするなど、橋の規模を縮小し残すべき 38.1%
- ・少数でも利用者がいれば、修繕などを引き続き行い残すべき 37.1%



(3) 車両の大型化に伴う橋・道路の劣化への対応

問 16 車両の大型化が進むことにより、物流の効率化やコストの削減が促進されます。その一方で、橋や道路の劣化については、重い車両の走行が、主な要因の1つといわれています。あなたは、これらのことについて、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

令和3年7月

- ・重い車両が走行できる道路を限定して、橋や道路への影響を軽減する 54.8%
- ・重い車両が走行できるよう、費用をかけてより頑丈な橋・道路に作り替える 19.0%
- ・重い車両が走行できるよう、橋や道路の劣化が発見され次第、その都度費用をかけて修繕していく 20.8%
- ・特に対策は取らない(橋や道路が劣化により、その他の車両も含めて走行できなくなっても仕方がない) 1.7%

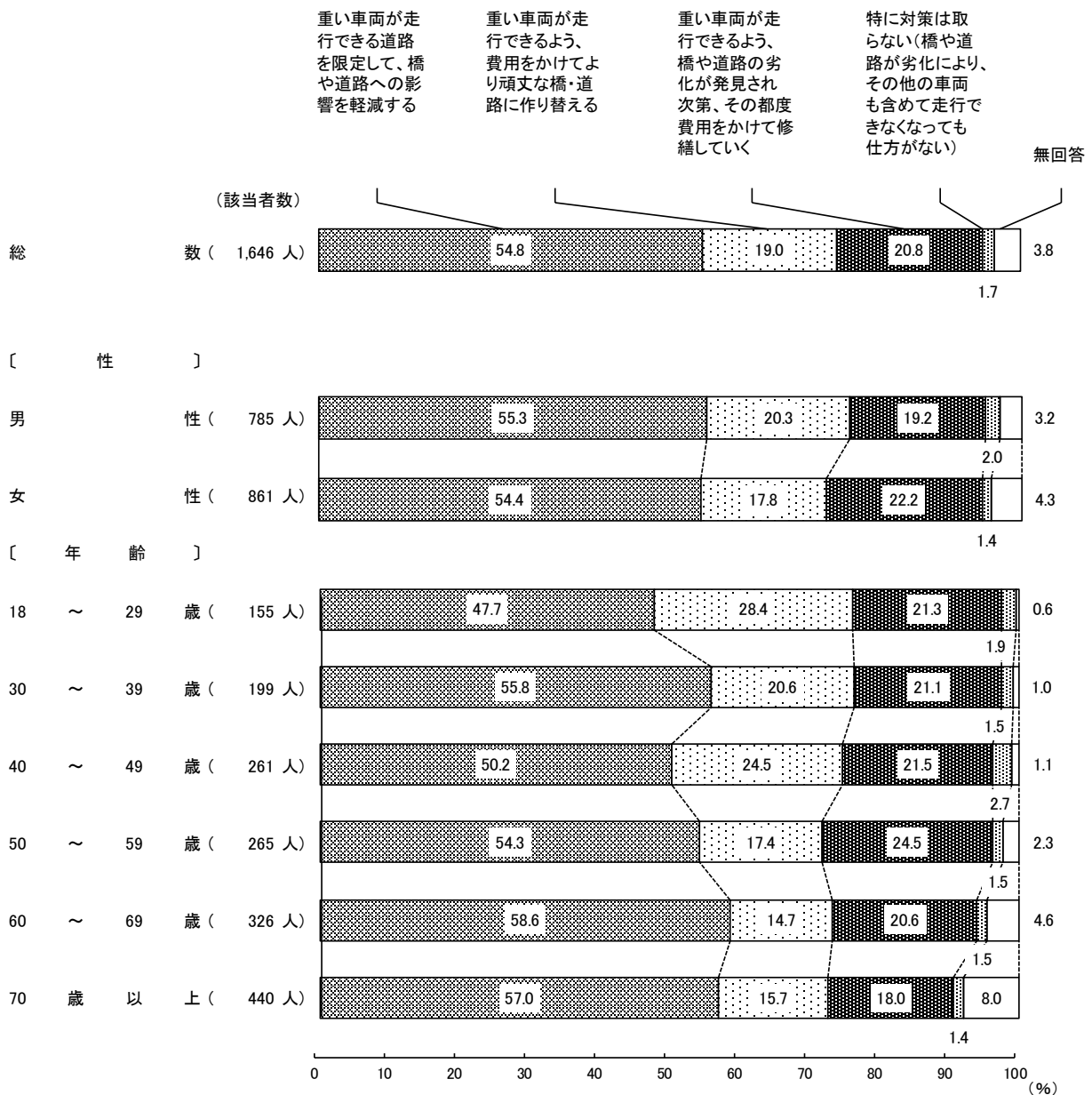


表 16－参考 車両の大型化に伴う橋・道路の劣化への対応

| | 該 当 者 数 | や 道 路 へ の 影 響 を 軽 減 す る | 重 い 車 両 が 走 行 で き る 道 路 を 限 定 し て、 橋 | 重 い 車 両 が 走 行 で き る よ う、 費 用 を か け て | 補 修 し て い く | 重 い 車 両 が 走 行 で き る よ う、 橋 や 道 路 の 劣 化 が 発 見 さ れ 次 第、 そ の 都 度 費 用 を か け て | 特 に 対 策 は 取 ら な い （ 橋 や 道 路 が 劣 化 に よ り、 そ の 他 の 車 両 も 含 め て 走 行 で き な く な っ て も 仕 方 が な い ） | そ の 他 | わ か ら な い |
|-------------------------------|------------------|--|---|---|----------------------------|--|---|-------------|-----------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成 24 年 10 月 調査 | 1,866 | 36.1 | 21.8 | 31.2 | 3.5 | 0.5 | 6.8 | | |
| 平成 28 年 7 月 調査 （うち 20 歳以上） | 1,783 | 36.1 | 23.1 | 31.2 | 2.8 | 0.5 | 6.3 | | |
| 平成 28 年 7 月 調査 | 1,815 | 35.9 | 23.3 | 31.1 | 3.0 | 0.5 | 6.3 | | |

（注 1）平成 24 年 10 月調査では、「車両の大型化が進むことにより、物流の効率化やコスト削減が促進されます。その一方で、橋や道路の劣化については、重い車両の走行が、主要因の 1 つと言われているところです。この状況をふまえ、この中であなたのお考えに最も近いものを 1 つだけお答えください。」と聞いている。

（注 2）平成 28 年 7 月調査では、「車両の大型化が進むことにより、物流の効率化やコストの削減が促進されます。その一方で、橋や道路の劣化については、重い車両の走行が、主要因の 1 つと言われているところです。この状況をふまえて、この中であなたのお考えに最も近いものを 1 つだけお答えください。」と聞いている。

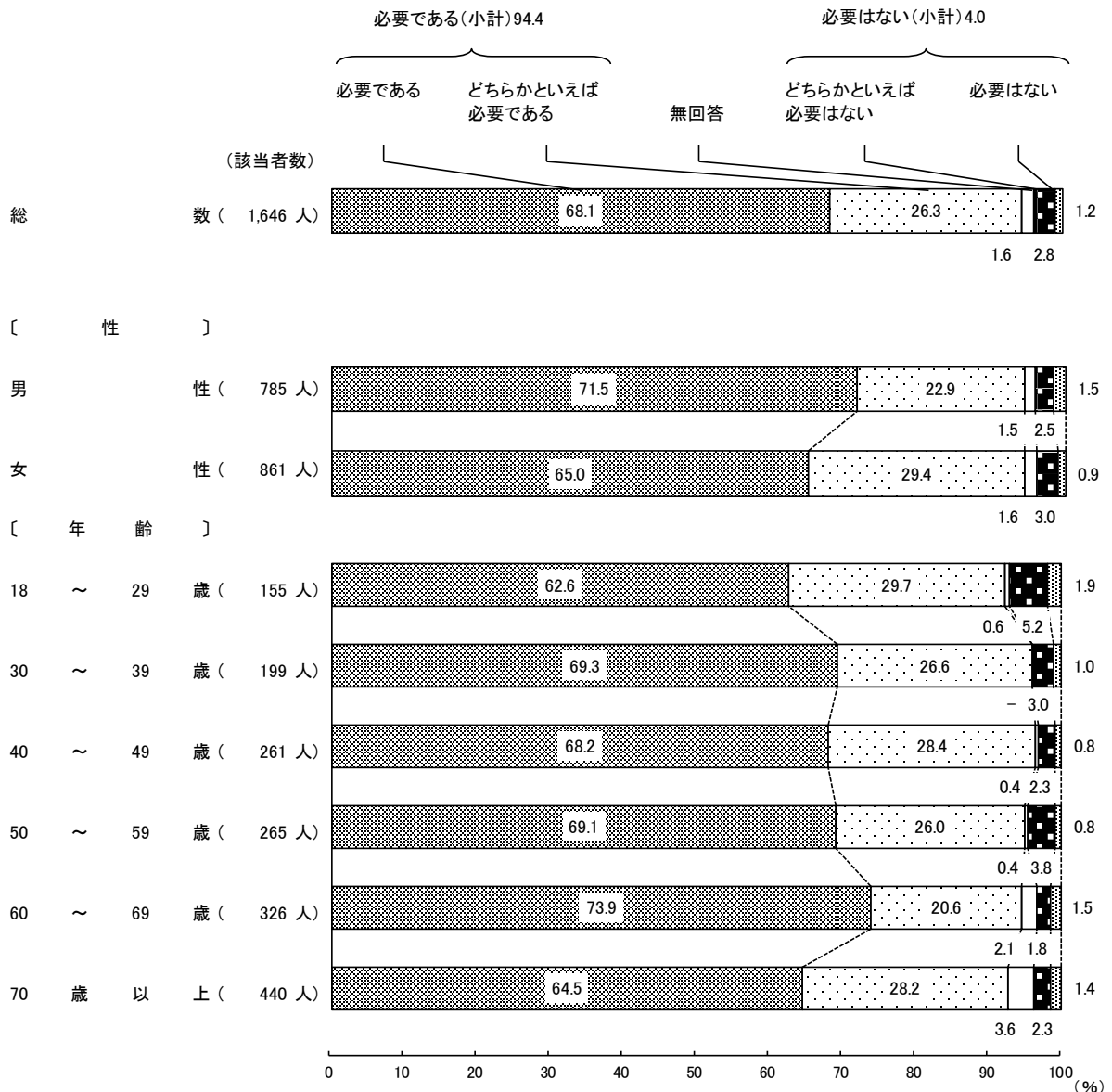
（注 3）平成 28 年 7 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 3 年 7 月調査との単純比較は行わない。

(4) 修繕が必要な橋やトンネルの情報公表に対する意識

問 17 老朽化により修繕が必要となっている橋やトンネルについて、その情報（名称、位置、老朽化の度合いなど）を公表することは安全・安心な暮らしのために重要であるとの考えがある一方、周辺の地価などに影響を及ぼす恐れがあるため公表する必要はないとの考えもあります。あなたは、自分が住んでいる地域に修繕が必要な橋やトンネルがあった場合、その情報の公表の必要性について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（〇は1つ）

令和3年7月

| | |
|----------------|-------|
| 必要である（小計） | 94.4% |
| ・必要である | 68.1% |
| ・どちらかといえば必要である | 26.3% |
| 必要はない（小計） | 4.0% |
| ・どちらかといえば必要はない | 2.8% |
| ・必要はない | 1.2% |



10 財源

(1) 道路整備などの費用を車利用者が負担することに対する意識

問 18 あなたは、今後の中長期的な道路整備や維持修繕、更新のための費用は、車を利用する人が負担するという考え方について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

令和3年7月

- ・適切である 14.4%
- ・やむを得ない 52.5%
- ・不適切である 31.5%

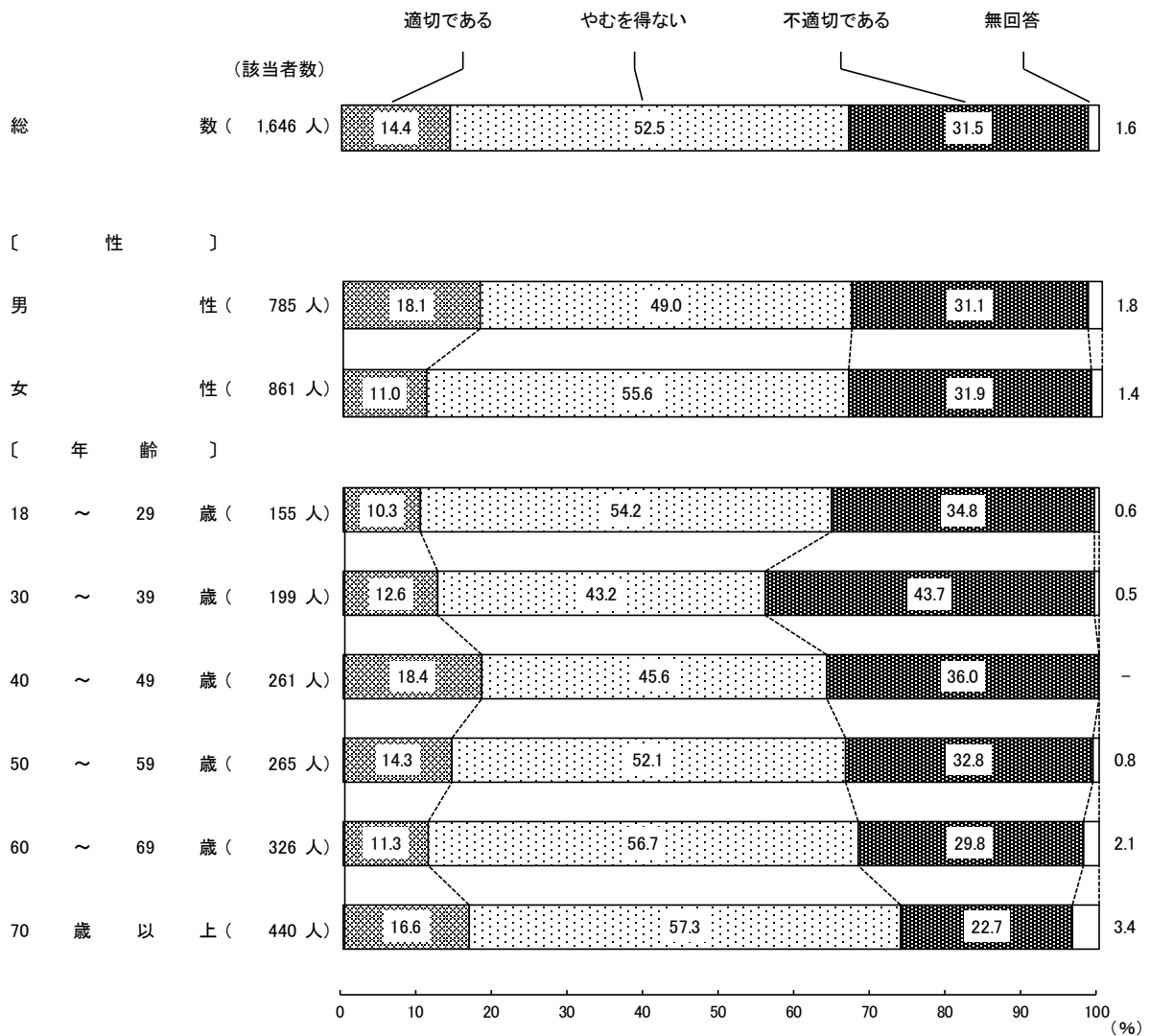


表 18－参考 道路整備等の費用を車利用者が負担することに対する意識

| | 該 当 者 数 | 適 切 で あ る | や む を 得 な い | 不 適 切 で あ る | そ の 他 | わ か ら な い |
|----------------------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|-------------|-----------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % |
| 平成 18 年 7 月 調 査 | 1,801 | 17.2 | 62.5 | 16.2 | 0.2 | 3.9 |
| 平成 24 年 10 月 調 査 | 1,866 | 15.8 | 51.4 | 27.9 | 0.4 | 4.5 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 (うち 20 歳 以 上) | 1,783 | 13.5 | 53.7 | 27.0 | 0.4 | 5.4 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 1,815 | 13.5 | 54.0 | 26.8 | 0.4 | 5.3 |

(注 1) 平成18年7月調査では、「道路整備のための費用は、車を利用する人が大部分を負担するという考え方について、あなたはどうにお考えになりますか。この中で最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成24年10月調査では、「道路整備のための費用は、車を利用する人が負担するという考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 3) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 車が一定地域に入る場合などに料金を支払う制度に対する意識

問 19 欧州などにおいては、混雑緩和や道路の維持修繕、更新の財源確保のため、車が一定の地域に入る場合に料金を支払う制度などが導入された地域があります。あなたは、このような考え方について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

令和3年7月

| | |
|-----------------|-------|
| 適切である (小計) | 64.7% |
| ・適切である | 15.6% |
| ・どちらかといえば適切である | 49.1% |
| 不適切である (小計) | 33.8% |
| ・どちらかといえば不適切である | 22.8% |
| ・不適切である | 11.0% |

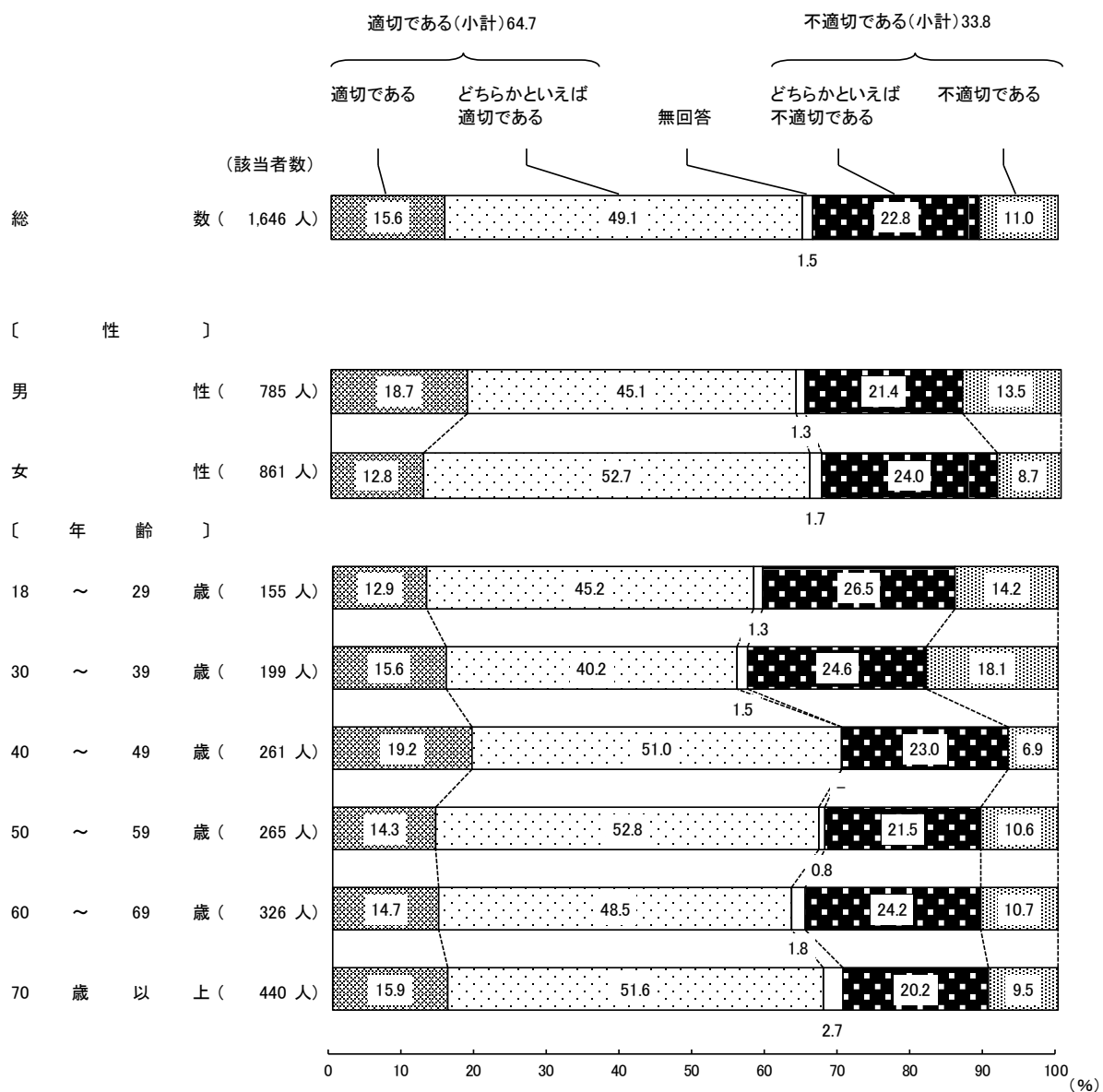


表 19－参考 車が一定地域に入る場合等に料金を支払う制度に対する意識

| | 該 当 者 数 | 適 切 で (小 あ 計) | | | 不 適 切 で (小 あ 計) | | | わ か ら な い |
|----------------------------------|------------------|----------------------------------|---|----------------------------|--|----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | 適 切 で あ る | ど ち ら か と い え ば 適 切 で あ る | 不 適 切 で あ る | ど ち ら か と い え ば 不 適 切 で あ る | 不 適 切 で あ る | わ か ら な い | |
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % |
| 平成 24 年 10 月 調 査 | 1,866 | 45.7 | 10.8 | 34.9 | 43.8 | 25.7 | 18.1 | 10.5 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 (うち 20 歳 以 上) | 1,783 | 49.6 | 13.4 | 36.2 | 40.9 | 26.6 | 14.3 | 9.5 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 1,815 | 49.8 | 13.6 | 36.1 | 40.8 | 26.7 | 14.2 | 9.4 |

(注 1) 平成24年10月調査では、「欧州などにおいては、混雑緩和や道路の維持更新の財源確保のため、車が一定の地域に入る場合に料金を支払う制度などが導入されつつありますが、この様な考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成28年7月調査では、「欧州などにおいては、混雑緩和や道路の維持修繕、更新の財源確保のため、車が一定の地域に入る場合に料金を支払う制度などが導入された地域がありますが、このような考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 3) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

11 高速道路の料金

(1) 高速道路の維持修繕、更新のための費用のあり方

問 20 現在、高速道路の建設や維持修繕、更新の費用は、通行料金でまかなっていますが、2065 年以降は無料になり、維持修繕、更新の費用は税金でまかなう制度になっています。一方で、維持修繕、更新の費用は、引き続き、高速道路を利用する人が通行料金により負担すべきとの考え方もあります。あなたは、高速道路の維持修繕、更新の費用のあり方について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

令和3年7月

- ・全額税金でまかなっていくべき 5.5%
- ・税金でまかなっていくべきだと思うが、ある程度は高速道路の通行料金でまかなうこともやむを得ない 30.4%
- ・高速道路の通行料金でまかなっていくべきだと思うが、ある程度は税金でまかなうこともやむを得ない 44.5%
- ・税金ではなく、高速道路の通行料金でまかなっていくべき 18.4%

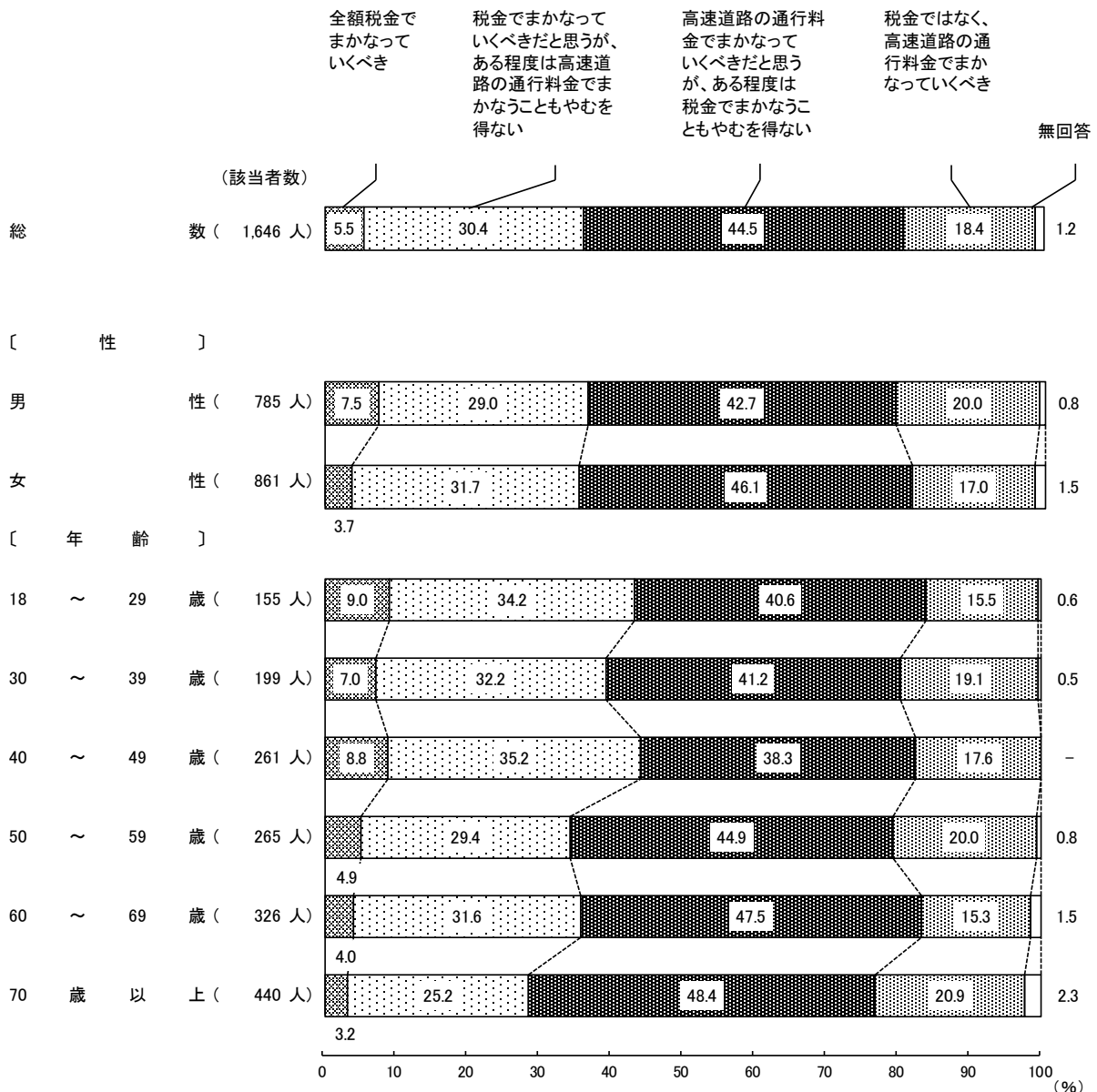


表 20－参考 高速道路の維持修繕、更新のための費用のあり方

| | 該 当 者 数 | 全額税金でまかなっていき きだと思ふ | 税金でまかなっていくべきだ と思うが、ある程度は高速道 路の通行料金でまかなうこと もやむを得ないと思ふ | 高速道路の通行料金でまか なつていくべきだと思ふが、ま ある程度は税金でまかなうこ ともやむを得ないと思ふ | 税金ではなく、高速道路の通 行料金でまかなつていくべき だと思ふ | そ の 他 | わ か ら な い |
|-----------------|------------------|-----------------------|---|--|--|-------------|-----------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % | % |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 1,815 | 6.3 | 32.2 | 41.3 | 16.5 | 0.4 | 3.4 |

(注 1) 平成28年7月調査では、質問前に資料を提示している。

(注 2) 「あなたは、高速道路の維持修繕、更新のための費用のあり方について、どのようにお考えになりますか。この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 3) 平成28年7月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 高速道路の料金と渋滞の関係に対する考え方

問 21 高速道路では、利用者が多いことから渋滞が発生している区間があります。あなたは、渋滞と通行料金との関係について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください (〇は1つ)

令和3年7月

- ・ さらに渋滞が悪化するとしても、通行料金を現在よりできるだけ引き下げる方がよい 14.6%
- ・ 一部区間で渋滞が発生しているも、現在の通行料金を維持すべき 54.4%
- ・ 通行料金を現在より引き上げてでも、渋滞を解消した方がよい 29.0%

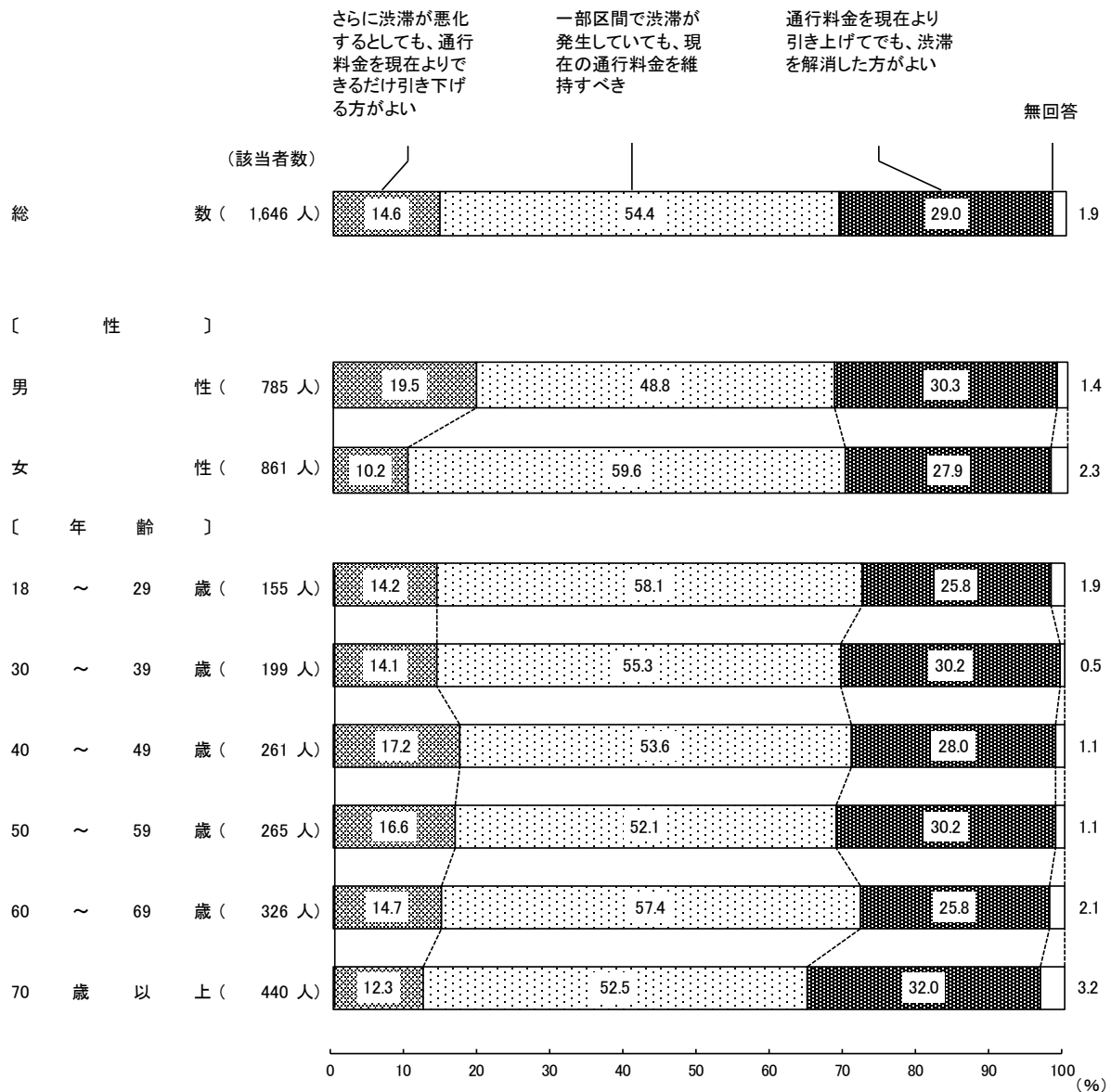


表 21－参考 高速道路の料金と渋滞との関係に対する考え方

| | 該 当 者 数 | さら に 渋 滞 が 悪 化 す る と し て も 、 通 行 料 金 を 現 在 よ り 下 げ る 方 が よ い （ 注 1 ） | 一 部 区 間 で 渋 滞 が 発 生 し て い て も 、 現 在 の 通 行 料 金 を 維 持 す べ き （ 注 1 ） | 通 行 料 金 を 現 在 よ り 引 き 上 げ て も 、 渋 滞 を 解 消 し た 方 が よ い （ 注 1 ） | そ の 他 | わ か ら な い |
|----------------------------------|------------------|---|---|---|-------------|-----------------------|
| | 人 | % | % | % | % | % |
| 平成 24 年 10 月 調 査 | 1,866 | 17.0 | 47.2 | 25.0 | 1.2 | 9.5 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 （うち 20 歳 以 上） | 1,783 | 17.6 | 49.0 | 22.7 | 1.1 | 9.6 |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 1,815 | 17.6 | 49.1 | 22.8 | 1.0 | 9.5 |

（注 1）平成24年10月調査では、「通行料金」は「料金」となっている。

（注 2）平成24年10月調査では、「高速道路では、料金割引が実施されている結果、一部区間では渋滞が発生しています。あなたは、渋滞と料金との関係について、どのようにお考えになりますか。この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

（注 3）平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。

12 施策ニーズ

(1) 力を入れてほしい道路分野

問 22 あなたは、どのような分野の道路整備に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位7項目)

令和3年7月

- ・大地震や津波、大雨、大雪などによる災害に備えた対策 64.0%
- ・すれ違いが困難な狭い道路や急カーブの改良 51.3%
- ・歩道の設置や拡幅、段差解消など 39.1%
- ・カーナビやスマートフォンなどを通じた情報提供の拡充 36.5%
- ・渋滞を緩和するためのバイパス整備や交差点の立体交差化など 36.5%
- ・わかりやすい標識の整備 33.7%
- ・電線類の地中化や植樹など景観の改善 33.0%

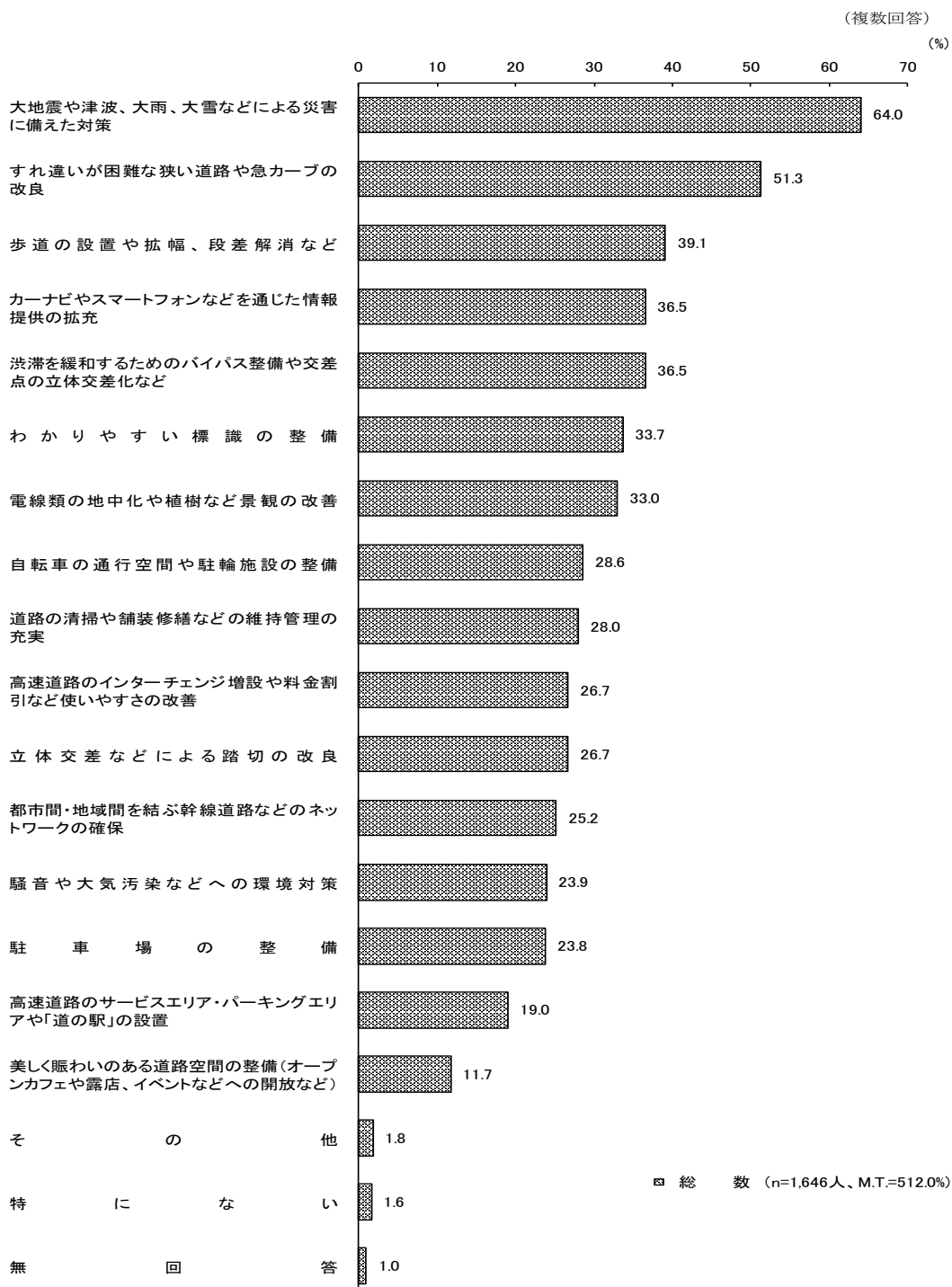


表 22－参考 各道路施策の今後の必要性

| | | (複数回答) | | | | | | | | | | 計 (M.T.) | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|--------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|-------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------|-------|------|
| | | わ | か | ら | な | い | 特 | に | な | い | そ | | の | 他 | | | | | | | | | | | | |
| 平成 28 年 7 月 調 査 | 該 当 者 数 | 人 | 1,815 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 大地震や津波、大雨、大雪などによる災害に備えた対策 | % | 54.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 54.3 | | |
| | すれ違いが困難な狭い道路や急カーブの改良 | % | 43.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 43.2 | |
| | 歩道の設置や拡幅、段差解消など | % | 32.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 32.1 | |
| | 渋滞を緩和するためのバイパス整備や交差点の立体交差化など | % | 31.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 31.8 | |
| | 分かりやすい標識の整備 | % | 29.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 29.3 |
| | 電線類の地中化や植樹など景観の改善 | % | 28.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 28.5 |
| | 自転車の通行空間や駐輪施設の整備 | % | 25.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25.2 |
| | 駐車場の整備 | % | 24.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 24.1 |
| | 高速道路のインターチェンジ増設や料金割引など使いやすさの改善 | % | 23.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 23.7 |
| | 騒音や大気汚染などへの環境対策 | % | 21.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 21.6 |
| | 立体交差などによる路切の改良 | % | 20.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20.9 |
| | 都市間・地域間を結ぶ幹線道路などのネットワークの確保 | % | 20.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20.8 |
| | 道路の清掃や舗装修繕などの維持管理の充実 | % | 19.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19.5 |
| | カーナビなどを通じた情報提供の拡充 | % | 18.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 18.6 |
| 高速道路のサービスエリア・パーキングエリアや道の駅の設置 | % | 17.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 17.6 | |
| 美しく賑わいのある道路空間の整備（オープンカフェやイベントへの開放など） | % | 8.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8.6 | |
| その他 | % | 0.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.6 | |
| 合計 | % | 1.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.8 | |
| 合計 | % | 425.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 425.5 | |

(注) 平成28年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和3年7月調査との単純比較は行わない。